

安息日聖書教科



聖靈に関する教訓

Vol. 94, No.4

2018 年 10 月 -12 月

Justin

目次

1. 聖霊の働き	5
2. 聖霊の象徴	10
3. 天来の教師	15
4. キリストのご生涯における聖霊	20
5. 天の最高の賜物	26
6. 天の力	31
7. 神の教会を導く	36
8. 注意を払う必要性	41
9. 造りかえられなさい	47
10. ぶどうの木からの教訓	52
11. 前の雨の経験	57
12. 約束された後の雨	62
13. 神の国をつぐことの保証	67

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部 (P.O.Box 7240 Roanoke, Virginia 24019-0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.94, No.4

編集&発行:
S DA改革運動日本ミッション

〒368-0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607-1

TEL: (0494) 22-0465

FAX: (0494) 40-1045

URL:
<http://www.4angels.jp>

E-mail:
support@4angels.jp

イラスト: Illustrations: Good Salt on the front cover, and Map Resources on pp. 4, 46, 72.

まえがき

「キリストはご自分の昇天後、ご自分の教会に、ご自分の最高の賜物として、慰め主、すなわちご自分に代わるお方をつかわすと宣言された。この慰め主は聖霊—このお方の命の魂、このお方の教会の効力、世の光であり、かつ命—である。ご自分の御霊と共にキリストは和解の感化力と罪を取り去る力を送られる。

御霊という賜物において、イエスは人に天が与え得る最高に良いものを送られたのである。…

世の贖い主によって実行されたことを効果あるものにするのは御霊である。心が清くされるのは御霊によってである。御霊を通して、信徒は神性にあずかるものとなる。キリストはあらゆる先天的また後天的悪への傾向へ勝利するため、またご自身のご品性を教会に印象づけるための神聖な力としてご自分の御霊をお与えになった。」(ビュー・アンド・ハルド 1904 年 5 月 19 日)

「魂をよいわざに実り豊かなものとする唯一のものは、魂のうちにあるイエス・キリストの命であり、聖霊によって与えられる活動的な愛の原則である。」(ライフ・スケッチ 327)

今期、安息日学校教科を学ぶ際、御霊に協力し、わたしたちの心を完全にこのお方のご支配に明け渡しましょう。御霊がわたしたちの心に働いてくださるとき、わたしたちは互いにより近くに引き寄せられます。そしてわたしたちは受けた祝福を分かち合いたくなるのです。主がわたしたちを助けてくださり、兄弟たちと一致し心を尽くして、イエスの間もない来臨のよき知らせを広めるのに先だつ御霊の力を求めることができますように。

「わたしたちが今生存している時代は、求める者にとって、聖霊の時代となるのである。このお方の祝福を求めなさい。わたしたちが献身においてもっと真剣になるべき時は今である。わたしたちには、闇の中にいる人々にキリストを表すという骨の折れる、しかし嬉しく栄光に満ちた働きが委ねられている。わたしたちはこの時代のための特別な真理を宣布するよう召されている。これらすべてのために、御霊の注ぎが重要不可欠である。わたしたちはそれを求めて祈るべきである。主はわたしたちがご自分に求めることを期待しておられる。わたしたちはこの働きにおいて心を尽くしてこなかった。」(ビュー・アンド・ハルド 1897 年 3 月 2 日)

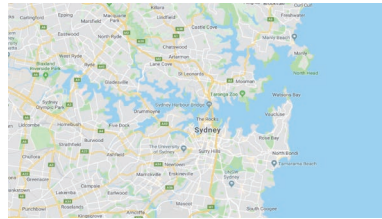
「わたしたちが出席するすべての集会において、まさにこの時に神がわたしたちの魂を温め、潤いを与えてくださるようにとの祈りがのぼるべきである。わたしたちが神に聖霊を求めるときに、それはわたしたちのうちに柔和、思いのへりくだり、完成させる後の雨のために神に依存しているとの自覚を生じさせる。もしわたしたちが信仰のうちに祝福を祈り求めるならば、神が約束されたとおりに、それを受けるのである。」(牧師への証 509)

世界総会安息日学校支部

第一安息日献金 オーストラリア・ニューサウスウェールズ州 スコッフィールド教会プロジェクトのために

親愛なる世界中の安息日学校のメンバーの皆様

シドニーは、オーストラリアの最大の都市で、財政上の首都です。ここ数年、アジア太平洋地域におけるオーストラリアの影響力は着実に増しており、この地域の教会とユニオンのためにセンターを完備することが、霊的な見地から感化力を促進するために非常に必要になっています。



1990 年にわたしたちはユニオンの本部と教会を両方ともシドニーの西部、スコッフィールドの郊外へ引っ越しました。建物のコストが高かったため、わたしたちはオーストラリア連合の本部と、教会として使用してきたダイニングホールを完成させることはできました。今やわたしたちのプロジェクトにおいて、いくつかの安息日学校の教室や、緊急に必要としているトイレの施設を含む第二ステージに進む用意ができました。

エリム伝道カレッジにおけるわたしたちのクラスのほとんどはこの教会で行われ、その期間は伝道のための大中心となります。学校が終わってからも、伝道活動のための機会は着実に増えており、より多くの働き人たちを得て大きな機会があります。「世界中になすべき働きがあり、わたしたちが終わりの時に近づいているため、主はこの働きに携わるよう多くの人々の思いに印象づけておられる。もしあなたが自分の感化力をシドニーでなされる必要のある働きの運営に向けて用いることができるなら、一度も真理を聞いたことのない多くの魂が救われるであろう。諸都市のために働かなければならない。神の救う力は燃えている灯火として彼らを通して出て行かなければならない。」(伝道 425)

シドニーは世界の中で 8 番目に生活費の高いところです。ですから、わたしたちのメンバーにかかる資金的な要求は非常に大きいものです。スコッフィールドにある教会は、世界中の他の場所を援助するのに非常に寛大でしたが、今は皆さんの助けが必要です。わたしたちはプロジェクトを始める資金は十分にありましたが、完成させるためには本当に皆さんの助けが必要です。主がこの地域における主の働きを前進させるために皆さんの惜しみない寛大さを祝福してくださいますように。

スコッフィールド教会から皆さんの兄弟姉妹より

聖霊の働き

「そして、それを神は、御霊によってわたしたちに啓示して下さったのである。御霊はすべてのものをきわめ、神の深みまでもきわめるのだからである。」(コリント第一 2:10)

「聖霊は神の事柄を取り上げ、天の宝をまごころから求めている人にそれらを明らかにされる。もしわたしたちがこのお方の導きに明け渡すなら、このお方のすべての光へとわたしたちを導き入れてくださるのである。」(ビュ・アント・ヘラルド 1896 年 12 月 15 日)

推奨文献： 原稿リズ 2 巻 9-18

日曜日

9月30日

1. 人の知恵の限界

a. 人の思いにとって、何が最大の神秘ですか (ヨブ 11:7; イザヤ 40:28)。

「だれも思いあがり、神の栄光を隠している幕をあげてはならない。『そのさばきは窮めがたく、その道は測りがたい』(ローマ 11:33)。神の力が隠されているのは神のあわれみの証拠である。神の臨在を人の目にふれぬようにしている幕をあげるならば人間は死ぬからである。どんな人間の頭脳も万軍の神がおすまいになり、働かれている神秘を透察することはできない。さとることができるのは神がおあらしになったことだけである。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 418, 419)

b. わたしたちはどのように神の事柄を理解することができますか (申命記 29:29)。

「神がご自分のみ言葉の中で与えてくださったご自身の啓示は、わたしたちの研究主題である。これは理解しようとしてかまわない。しかし、それを越えて、侵入すべきではない。最高の知性を神の性質に関する推測に疲れ果てるまで、酷使しても、努力に実りはしない。この問題は、わたしたちに解くよう与えられてこなかった。どの人の頭脳も神を理解することはできない。有限な人間はだれもこのお方を解釈しようと試みてはならない。このお方の性質に関して推測にふけってはならない。ここでは沈黙が雄弁である。全知なるお方は議論を超越しておられる。」(教会への証 8 巻 279)

2. 神聖なる啓示の必要性

- a. わたしたちにご自身を表すために、神はどなたをお用いになりますか。なぜ今日さえ、この神聖な代理者が必要とされているのですか（コリント第一 2:10（上句））。

「無限の愛と慈悲によって、天から送られた聖霊は、キリストに絶対的信仰をいっているすべてのものに、神に関することを啓示する。聖霊は、魂の救いに関する重大な真理を、人の心に強く印象づける。こうして生命の道は、ふみあやまることのできないほど明らかにされるのである。わたしたちが聖書を研究するときには、神の聖霊の光がみことばを照らし、わたしたちがみことばの宝をみとめて、理解できるようになることを祈り求めなければならない。」（キリストの実物教訓 89）

「ご自分のみ言葉のうちに、神は救いのために必要な知識を人々に委ねてくれた。聖書は、神のみ旨の権威のある無謬の啓示として、受け入れられるべきである。それらは品性の標準であり、教理の啓示であり、経験の試金石である。…それでいながら、ご自分のみ言葉を通して人々にご自分のみ旨を明らかにされてきたという事実によって、聖霊の絶えざるご臨在や導きを不要にすることはない。逆に、聖霊はわたしたちの救い主によって、ご自分のしもべたちにみ言葉を聞き、その教えを照らし適用するために約束されたのである。」（驚くべき恵み 198）

- b. 聖書はどのように記されましたか。またそれはなぜですか（ペテロ第二 1:21；ローマ 15:4；テモテ第二 3:16）。

「聖書はその著者を神として指し示している。しかしなお、それは人の手によって記されたのである。そしてその様々な書の多様な様式によって、聖書は数人の著者の特徴を提示している。明らかにされた真理は『すべて神の靈感を受け』たものである（テモテ第二 3:16）。しかしなお、それらは人の言葉で表現されている。無限のお方はご自分の聖霊によって、ご自分のしもべらの思いと心に光を注ぎ込んでこられた。」（信仰によってわたしは生きる 10）

「靈感を受けているのは聖書の言葉ではなく、人が靈感を受けたのであった。靈感は人の言葉やその経験に働くのではなく、人自身、すなわち聖霊の感化の下にあって、思想を吹き込まれる人に働くのである。しかし、言葉は個人の思いの影響を受ける。…神の思いと意思が、人間の思いと意思とに結合するのである。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 7 巻 945, 946）

3. 聖霊、神聖な証人

- a. 何が聖霊は神格を成す天の三大権力のお一人であることを示していますか（マタイ 28:19）。このお方の働きは何ですか。

「神格は人類に対する憐れみにかきたてられた。そこで御父、御子、聖霊は、贖いの計画を実行するためにご自身を捧げられた。」（健康に関する勧告 222）

「生ける天のお三方がおられる。これらの三人の偉大な権力—御父、御子、そして聖霊—の御名によって、キリストを生きた信仰によって受け入れた人々はバプテスマを受ける。そしてこれらの権力者たちは、天の従順な臣民たちがキリストにあって新しい生涯を送るために努力するとき、協力してくださるのである。」（伝道 615）

「みたまは人を生れかわらせる働きをするものとして与えられるのであって、これがなければ、キリストの犠牲は何の役にもたなかったであろう。悪の力は幾世紀にわたって強められ、人々がこのサタンのとりことして屈服していることは驚くばかりであった。罪に抵抗してこれに打ち勝つ唯一の道は、制限された力ではなく天来の満ち足りた力をもってこられる第三位の神、聖霊の偉大な働きを通してである。世のあがない主によって達成されたことに効果を与えるのはみたまである。心が清くされるのはみたまによってである。みたまによって、信者は神の性質にあずかる者となる。すべての先天的後天的な悪の傾向に打ち勝つ天来の力として、またご自身の品性を教会に印象づける天来の力として、キリストはみたまをお与えになった。」（各時代の希望下巻 156, 157）

- b. 聖霊のどの働きもまた、このお方が神に等しい神聖なお方であることを示唆していますか（コリント第一 2:10（下句））。

「聖霊は個性を持っておられる。そうでなければ、このお方はわたしたちの霊に對して、またわたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子であることを証することがおできにならないはずである。このお方はまた神聖なお方であられる。そうでなければ、神のみ思いの中に隠されている秘密を探り出すことがおできにならないはずである。『いったい、人間の思いは、その内にある人間の霊以外に、だれが知っていようか。それと同じように神の思いも、神の御霊以外には、知るものはない。』（伝道 617）

4. 聖霊の個性

a. なぜ聖霊の正確なご性質はなおも神秘のままなのですか(ヨハネ 16:13)。

「聖霊とは何であるか、その正確な定義づけをする必要はない。み霊は助け主『父のみもとから来る真理の御霊』であるとキリストは言っておられる。聖霊については、人々をあらゆる真理に導く働きにおいて『それは自分から語るのではな』いとはっきり述べられている。

聖霊の性質は神秘である。人間はそれについて説明することができない。……余りに深いので人間には理解できないこのような神秘については、沈黙が金である。」(患難から栄光へ上巻 47,48)

b. 聖霊のご性質は神秘であるにもかかわらず、何がこのお方も「神が人格を持ったお方であるのと同様に人格を持っておられる」ことを示していますか(ローマ 8:16, 26, 27)。

「わたしたちは、神が人格を持ったお方であるのと同様に人格を持っておられる聖霊が、〔アヴォンデール学校の〕地を歩いておられることを悟る必要がある。

聖霊は人格をもったお方である。なぜなら、このお方はわたしたちが神の子であることをわたしたちの霊と共に証してくださるからである。この証が担われるとき、それはそれ自身の証拠をおびている。そのようなときに、わたしたちは自分たちが神の子であることを信じ、確信するのである。」(伝道 616)

c. どのように聖霊は、キリストや御父の命じられるとおりに奉仕するかたわらでさえ、自由意志をもっておられることがわかりますか(コリント第一 12:11; 使徒行伝 13:2)。

「救い主は、行って、すべての国民に教えよと言われたとき、またこう言われた、『信じる者には、このようなしるしが伴う。すなわち、彼らはわたしの名で悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、へびをつかむであろう。また、毒を飲んでも、決して害を受けない。病人に手をおけば、いやされる』。この約束は、任命と同じように遠大なものである。全部の賜物が信者のひとりびとりに与えられるというのではない。『御霊は思いのままに、それらを各自に分け与えられるのである』(コリント第一 12:11)。しかしみたまの賜物は、主の働きのためその必要に応じて、どの信者にも約束されている。」(各時代の希望下巻 370)

「神の民の働きは多岐にわたるかもしれないし、そうなるであろうが、それらすべての内で動かすお方は一人の聖霊である。」(今日のわたしの生涯 276)

5. 神聖な助け主（慰め主）

- a. どのような方法において、聖霊は「別の助け主（慰め主）」でしたか（ヨハネ 14:16）。

「助け主は『真理の御霊』と呼ばれている。助け主の働きは真理を明らかにし、これを守ることである。助け主はまず真理のみたまとして心に住み、こうして助け主となられる。真理には慰めと平安があるが、虚偽には真の平安も慰めもない。……聖霊は、聖書を通して心に語り、真理を心に印象づける。」（各時代の希望下巻 156）

- b. 聖霊は、すべての信徒のために、何をなさいますか（ヨハネ 16:13（上句））。

「天の灯火が自分の手に置かれると、真理を求めている人は自分自身のもろさ、自分の弱さ、義を探して自分を見ても希望がないことを認める。彼は自分のうちには、自分を神に推奨できるものは何もないことを悟る。彼は聖霊、すなわちキリストの代表者が、自分の不断の案内者となり、自分をあらゆる真理へと導いてくださるよう祈り求める。」（両親・教師・学生への勧告 450）

「どんな時にも、どんな場所でも、どんな悲しみにも、どんな苦しみにも、前途が暗く将来が困難に見えて無力と孤独を感じる時にも、信仰の祈りに答えて、助け主が送られる。この世のすべての友から離れるような事情が起こるかもしれない。しかしどんな事情もどんな距離もわれわれを天の助け主から離れさせることはできない。どこにしようとも、どこへ行こうとも、主はいつもわれわれの右にあって、力づけ、助け、ささえ、励まされる。」（各時代の希望下巻 154）

個人的な復習問題

1. どれくらい神はご自身をわたしたちに表されますか。なぜですか。
2. わたしたちが神の真の知識を得ることのできる唯一の方法は何ですか。
3. わたしたちはどのようにして天のトリオに三人のお方がおられることがわかりますか。聖書から例を挙げなさい。
4. 聖霊が神なるお方であることを示しているのは何ですか。
5. 聖霊は、どのような方法で、わたしたちを「慰め」て下さいますか。

聖霊の象徴

『わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう』これは、イエスを信じる人々が受けようとしている御霊をさして言われたのである。すなわち、イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊がまだ下っていなかったのである。」(ヨハネ 7:38, 39)

「限りなきおかたである神は、聖霊によって、ご自分のしもべたちの心と頭に光をお与えになった。神は、夢とまぼろしと象徴をお与えになった。そして、このようにして真理を啓示された人々は、その思想を人間のことばであらわしたのである。」(各時代の大争闘上巻序文Ⅱ)

推奨文献： 各時代の大争闘上巻序文 III-VI

日曜日

10月7日

1. 象徴としての水

a. 水はどのように、聖霊の性質と働きを象徴していますか(ヨハネ 3:5; テトス 3:5)。

「洗いは、水の中でキリストの死の様にひとしくこのお方と共に葬られることであり、神の律法の違反を悔い改めたすべての人が聖霊の働きを通して精錬と清めを受けることを表している。バプテスマは聖霊の再生による真の改心を表している。」(信仰によってわたしは生きる 143)

b. イエスは霊的に渇いている人々を、どうするように招いておられますか(ヨハネ 7:37-39; 4:14)。

「この世の泉でかわきをいやそうとする者は、飲んでもすぐにまたかわくだけである。どこでも人々は満足していない。彼らは魂の必要を満たすものを求めている。その足りないところを満たすことのできるおかたはひとりしかない。世の必要、『万国の願うところのもの』はキリストである(ハガイ 2:7 文語訳)。キリストだけがお与えになれる神の恵みこそ、魂をきよめ、清新にし、活気づける生ける水である。」(各時代の希望上巻 221)

2. 象徴としての風

- a. どのような方法において、風は改心における聖霊の働きを表していますか（ヨハネ 3:8）。

「風を神の御霊の象徴としてお用いになった。」（原稿別冊12巻155）

「風は木々のこずえに音をたて、葉や草花をさらさらと鳴らせるが、目に見えないので、だれも風がどこからきてどこへ行くかを知らない。心に働く聖霊の働きもこれと同じである。それは、風の動きと同じように、説明することができない。人は自分が信仰にはいった正確な日時と場所を言ったり、入信の過程における事情を始めから終りまで説明したりすることができないかも知れない。だがそのことは、彼が信仰にはいっていないという証拠にはならない。風のように目に見えない力によって、キリストはたえず心に働きかけておられる。すこしずつ、おそらく本人の気がつかないうちに、魂をキリストへひきよせるのに役立つ印象が与えられているのである。こうした印象は、キリストについて瞑想したり、聖書を読んだり、あるいは説教者のことばをきいたりすることによって与えられるかもしれない。そしてみたまがもっと直接に訴えるとき、突然にその魂はよるこんでイエスに屈服する。多くの人はこれを突然の改心と呼ぶが、それは神のみたまが長い間その人を説得した結果、すなわち長期間にわたる忍耐強い作用の結果である。

風自体は目に見えないが、風によって生ずる結果は見たり感じたりすることができる。同じように、魂に対するみたまの働きは、その救いの力を感じた人のすべての行為にあらわれる。神のみたまが心を占領されるとき、それは生活を生れ変らせる。罪の思いはしりぞけられ、悪い行為は放棄され、愛と謙遜と平安が怒りとねたみと争いに入れ代る。よるこびが悲しみに入れ代り、顔には天の光が反映する。だれも重荷を持ちあげる手を見たり、天の宮からくだる光を目に見たりする者はない。祝福は、信仰によって魂が神に屈服するときに与えられる。その時、人間の目で見ることのできない力が、神のかたちにかたどって新しい人間を創造する。」（各時代の希望上巻 202, 203）

- b. 神の御霊は、誇り高い人間のはかなさを強調するために、どのように用いられていますか（イザヤ 40:7, 8）。

3. 象徴としての油

- a. キリストとの関係における聖霊のふさわしい象徴として、どのように油が用いられていますか（詩篇 45:7; 23:5; イザヤ 61:1）。

「キリストは、ナザレで説教しながら、ご自身を油注がれた者として告知された。神の御霊がこのお方の言われたことに伴い、それらの真理を人々の心に確信させた。すべての人はこのお方の唇から出る恵み深い言葉を証言した。」（バイブル・エコー 1895 年 8 月 19 日）

- b. 油は、献身した信徒の内に、また彼らを通してなされる働きを、どのように表していますか（ゼカリヤ 4:6, 12, 14）。

「金の油は、二本のオリブの木から、金の管によって燭台の上の油を入れる器にいれられ、そこからともしび皿に注がれて聖所の中を照らした。そのように、神のみ前に立つ聖なる者から、神のご用に献身した人間という器に、聖霊が注がれるのである。これら一人の油そそがれた者の役目は、天からの恵みを神の民に与えることである。この恵みだけが神のみことばを、足のともしび、また、道の光とすることができる。『万軍の主は仰せられる、これは権勢によらず、能力によらず、わたしの霊によるのである』（ゼカリヤ書 4:6）。」（キリストの実物教訓 386）

「わたしたちの心は天との命のつながりがない限り、光を反射させることはできない。これだけが彼らを、イエスとこのお方の血で買われたすべての人への聖なる無私の愛で、途切れることなく燃えさせるのである。そしてわたしたちが絶えず黄金の油で補給されていない限り、炎は消えてしまうのである。」（家庭伝道 1897 年 7 月 1 日）

「油は油のために用意されている器の中に受け入れられる。それは愛によって働き、魂を清める、心の中の聖霊である。…聖なる油が、天から神の御霊のメッセージの中に注ぎ込まれないならば、悪の代理人たちが人々に対する完全な支配を得たことであろう。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 4 巻 1179, 1180）

「オリブの木が自らを空にして金の管に注ぎ出したように、天来の使命者たちは自分が神から受けたものをすべて伝えようとする。天のすべての宝はわたしたちが要求し、受けるのを待っている。そしてわたしたちが祝福を受けるとき、今度はわたしたちがそれを与える番である。こうして聖なる灯火が満たされ、教会は世において光を担う者となるのである。」（牧師への証 510）

4. はととして

- a. 何が、はとをイエス・キリストの上に与えられた聖霊にふさわしい目に見える象徴としましたか (マタイ 3:16)。

「イエスのバプテスマの時に、このお方の上を舞ったはとのかたちに表された象徴は、このお方のご品性の優しさを表している。」(セレクトド・メッセージ 2 巻 238)

- b. はとの優しさは、聖霊を受ける人々のうちにおのずと、どのように現れますか (マタイ 10:16; ガラテヤ 5:22)。

「人が神に改心するとき、新しい道徳的な分別を供給され、新しい動機の力が与えられて、神が愛されることを愛する。…愛、喜び、平和、そして言い尽くし得ない感謝が魂に行き渡り、祝福された人の言葉は、『あなたの助け(優しさ)はわたしを大いなる者とされました』になる(詩篇 18:35)。」(神の驚くべき恵み 302)

「キリストの光が魂の中に受け入れられると、霊が和らげられる。キリストの優しさが生活に表現される。謙遜な献身した魂の個人的な感化力は、花の香りのように、彼自身を超えて遠くへ及ぶ。彼には見せることにはない何かがある。それは彼が全地の主の御前に立つ二人の油注がれた者から受ける霊的な力である。聖霊は、神から神の雇われる器にもたらされ、他の人々の命へとあふれ出る。こうして他の人々を神と共に働く共労者にするのである。」(オーストラリア連合総会記録 1900 年 6 月 1 日)

- c. わたしたちは、はとの象徴から他にどのような教訓を学ぶことができますか (詩篇 55:6.)。

「キリストにある生涯は、平和な生涯である。感情の興奮はないかもしれないが、いつも変らない平和な信頼をもった生活である。自分に望みがあるのではなく、キリストに望みがあるのである。自分の弱さはキリストの力に、無知はキリストの知恵に、もろさはキリストの持久力と一つになる。そうであれば、あなたは自分のことを見てはならない。思いが自分のことばかりを考えることを許さず、キリストを見なさい。キリストの愛を瞑想し、そのご品性の美しさ、完全さに心にとめて考えなさい。…キリストを愛し、キリストにならい全くキリストに頼ってこそ、わたしたちはキリストのみかたちに変えられるのである。」(キリストへの道 94, 95)

5. 象徴としての火

- a. どのような方法において、火は聖霊を象徴していますか（マタイ 3:11；黙示録 4:5）。

「富んで満ち満ちた豊かな聖霊の賜物は、このお方の教会にとって、周囲を取り囲む火の壁のようなものとなる。黄泉の力もそれに打ち勝つことはできない。ご自分の民の汚されていない純潔としみのない完全のうちに、キリストはご自分の民を、あらゆるご自分の苦しみ、ご自分の屈辱、そしてご自分の愛の報いとして、またご自分の栄光を追加するものとしてご覧になる。それはキリスト、あらゆる栄光の輝き出る偉大な中心であられるお方の栄光である。」（牧師への証 18, 19）

- b. 火のように見えましたが火ではなかった何が、弟子たちに現れましたか（使徒行伝 2:3-8）。

「聖霊は炎の舌の形をとって、集まっていた人々の上にくだった。これは、そのとき弟子たちにさずけられた賜物の象徴であった。そして彼らは、それまで知らなかった他国の言葉で流暢に話すことができた。その炎は、使徒たちが働くときの燃えるような熱意と、その働きに伴う力を現した。」（患難から栄光へ上巻 34）

「この天来の啓発の下に、キリストが彼らに説明しておられた聖書は、彼らの思いの中で、生き生きとした輝きと、はっきりとした力強い真理のうるわしきをもって確立した。彼らが廃されたものの終わりをを見ることを妨げていた覆いが今や取り除かれ、キリストの使命という目的とこのお方の王国の性質が、完全な明確さをもって理解された。」（預言の霊 3 巻 266）

個人的な復習問題

1. 聖霊に関連して、水のパプテスマは何を象徴していますか。
2. 風は心の中における聖霊の働きを象徴するのに、どのように用いられていますか。
3. わたしたちの霊的な光が絶えず燃え続けているために、何がなくてはなりませんか。
4. はとは、クリスチャン生涯について、何をわたしたちに教えていますか。
5. 火の象徴は、どのように聖霊を表していますか。

天来の教師

「だれが、主の霊を導き、その相談役となって主を教えたか。」(イザヤ 40:13)

「聖霊、すなわち地上におけるキリストの代表者は、わたしたちの主のご昇天の際にこのお方によってこの世に送られた天の教師また案内者として示され、高められた。それはこのお方がご自分の十字架によって可能にされたすべてのことを、人々の心と生活の中で現実とならせるためであった。」(ライ・スチッチ 472)

推奨文献： キリストの実物教訓 124-134

日曜日

10月14日

1. 真理の教師

- a. 旧約時代において、聖霊はどのように真理の教師であられましたか (箴言 1:23)。
- b. ネヘミヤは神の民がエジプトを去ったのち、だれが神の民の教師であると言いましたか (ネヘミヤ 9:20)。御霊は歴史を通じて、どのように働かれましたか。

「はじめから、神は墮落した人類を救うご計画を完成するために人々を用い、聖霊によって働いてこられた。これは父祖たちの生活にはつきりあらわされていた。……使徒の時代にも、神は聖霊の力により教会のために偉大な働きをなさった。父祖たちをささえ、カレブやヨシュアに信仰と勇気を与え、使徒の教会の働きを効果的なものにした同じ力が、後につづくすべての時代に神の忠実な子らをささえてきた。ワルドー派のキリスト教徒が、暗黒の時代に改革の道を備える助けをしたのも、聖霊の力によるものであった。現代の伝道事業を確立するために道を開拓したり、聖書をあらゆる国家、民族の言葉や方言に翻訳したすぐれた人々の立派な努力も、同じ聖霊の力によるものであった。」(患難から栄光へ上巻 50)

2. 世の知恵を超越して

- a. 世の知恵と聖霊の知恵の対比を、使徒パウロはどのように示しましたか（コリント第一 2:12-14）。

「神聖な靈感は、最も学識の深い学者も答えられない多くの問いをなす。これらの問いはわたしたちがそれらに答えるためになされているのではなく、神の深い奥義に注意を引き、わたしたちの知恵が限られていることを教えるためになされているのである。わたしたちの日常生活の状況の中で多くの事柄は有限な思いの理解を越えており、神のさばきとご目的は極めがたいことを教えている。このお方の知恵は測りがたいのである。

懐疑論者たちは自分たちの頭脳で、このお方がご自身を人に表される無限の力を理解できないために、神を信じることを拒む。しかし、神はわたしたちの限りある理解力に明らかにされたことよりも、むしろこのお方がご自分について表されないことから、もっと認められるべきである。神聖な啓示と自然において、神は人に彼らの信仰を命じる奥義を与えてこられた。」（教会への証 8 巻 261）

- b. 神はわたしたちに真理を明らかになさるために、どのように聖霊をお用いになりますか（コリント第一 2:6, 7, 9, 10）。わたしたちは自分たちの教師なるお方に聞いていることをどのように示しますか。

「聖霊は、聖書を通して心に語り、真理を心に印象づける。こうしてみたまは誤りをばくろし、それを魂から追い出される。キリストが選民をご自身に心服させられるのは、真理のみたまが神のみことばを通して働くことによってである。」（各時代の希望下巻 156）

「神に神の聖霊によって光と真理をあなたに明らかにして下さるよう求めなさい。それによってあなたがこのお方のみ言葉で読んでいることを理解できるためである。復活後、キリストがエマオへの途上で弟子たちと歩いておられるときに、このお方は彼らの理解力を開いて聖書が理解できるようにして下さった。同じ神聖な教師が、もしわたしたちが心の窓を天に向かって開き、地に向かっては閉じ続けているならば、わたしたちの理解力を啓発して下さる。聖霊の働きはあらゆることをわたしたちに思い起こさせ、わたしたちをあらゆる真理に導くことである。」（彼を知るために 202）

「安っぽく満足を与えない非常に多くの事柄を、あなたの思いいっぱいに詰め込んではいならない。神のみ言葉のなかに、あなたの前に最も豊かなごちそうが広がられている。これは主の食卓であり、豊かに備えられており、あなたはそこから食べて満たされることができるのである。」（同上 201）

3. 神の事柄を知る

- a. 神の知識と知恵また聖霊はどれくらい深いですか (マタイ 10:29-31; ローマ 11:33-36)。

「ペンテコステの日に、聖霊が弟子たちの上に注ぎ出されたとき、彼らはキリストが譬の中で語っておられた真理を理解した。彼らにとって奥義であった教えが明確になった。聖霊の注ぎと共に彼らにもたらされた理解により、彼らは自分たちの空想的な理論を恥じるようになった。彼らの推測や解釈は、今彼らが受けた天来の事柄の知識に比べると愚かであった。彼らは聖霊に導かれ、彼らのかつては暗かった理解力に光が差し込んだ。」(教会への証 8 巻 267)

- b. 御霊は、人が自分自身では知ることのできないどのような事柄をご存じですか (コリント第一 2:11, 16)。

「神は、この世でさえ、そのみ言葉の真理をいつもその民にあらわしたいと望んでおられる。この知識を得る道はただ一つしかない。わたしたちが神のみ言葉の理解に達することができるのは、ただみ言葉を与えて下さった聖霊が照らして下さることによってのみである。」(キリストへの道 152)

- c. わたしたちは聖書を研究する前に、いつも何をすべきですか (詩篇 119:18)。

「聖書は祈りなしに研究すべきではない。聖霊だけが、理解しやすい事柄の重要性を感じさせ、あるいは理解の困難なものを曲解しないように守る。われわれがみ言葉の美しさに心をひかれ、その警告に戒められ、み約束によって活気づけられ、力づけられるように、心を備えさせて神のみ言葉を理解させるのが、天使たちの働きである。われわれは詩篇記者の『わたしの目を開いて、あなたのおきてのうちのくすしき事を見させてください』という訴えを、自分のものとしなければならない (詩篇 119:18)。試みがしばしば抵抗できないもののように見えるのは、祈りと聖書研究を怠っているために、試みられている者が神のみ約束をすぐに思い出すことができず、聖書という武器をもってサタンに対抗することができないからである。」(各時代の斗争闘下巻 367)

4. 真の教師

a. 真の教師の資格は何ですか (ヨハネ 7:18; マタイ 7:15-20)。

「キリストはいま真の教師と欺瞞者とを区別する方法をお示しになった。『自分から出たことを語る者は、自分の栄光を求めるが、自分をつかわされたかたの栄光を求める者は真実であって、その人の内には偽りが無い』(ヨハネ 7:18)。自分自身の栄誉を求める者は、自分の考えで語っているにすぎない。利己的な精神は、その根源を明らかにしている。」(各時代の希望中巻 238)

b. イエスはこれらの要件をどのように満たしておられましたか (ヨハネ 7:16; 8:50; 14:10; ヘブル 5:5 (上句))。

「キリストは、神の栄えを求めておられた。イエスは神のみことばを語られた。このことが、真理の教師としてイエスの権威の証拠であった。」(各時代の希望中巻 238)

「神はあなたのよい言葉や行いがあなた自身に人からの賞賛をもたらすようにあなたの光を輝かしなさいと言われたのではなかった。そうではなく、あらゆる善の創始者が栄光を受け、高められるのである。イエスは、ご自分の生涯において、人々に品性の模範をお与えになった。…このお方は『わたしの食物というのは、わたしをつかわされたかたのみこころを行い、そのみわざをなし遂げることである』と宣言された。もしわたしたちに神の働きに対するこの献身があり、このお方の栄光だけに目をとめてそれをなしているならば、わたしたちはキリストと共に、『わたしは自分の栄光を求めてはいない』とすることができるはずである。このお方の生涯はよい行いで満ちていた。そしてわたしたちの偉大な模範者が生きられたように生きるのがわたしたちの義務である。」(キリストを映して 41)

c. 聖霊はどなたに栄光を帰しますか。これはどのように聖霊がキリストとは区別された別の人格を持つお方だということを証明していますか (ヨハネ 16:13, 14)。

「聖霊は救い主を高め、栄光を帰す。このお方の働きは、キリスト、このお方の義の純潔さ、そしてわたしたちがこのお方を通して得る偉大な救いを提示することである。」(クリスチャン教育 59)

「み霊は、カルバリーの十字架上でさげられた大きな犠牲に人々の注意を向けさせ、この世に神の愛を示し、改心した人々に聖書の大切な事柄を提示しようと絶えず努めている。」(患難から栄光へ上巻 48)

5. 慰める案内者

- a. 慰め主は、キリストとは区別されたお方ですが、このお方は地上でどなたを代表しておられますか（ヨハネ 14:18, 21; 15:26）。特にいつですか。

「神の民が、何が真理かを知りたいという願いをもって聖書を調べるとき、イエスはご自分の代表者、すなわち聖霊によってご臨在下さり、謙遜な悔い改める人の心を生き返らせて下さる。」（原稿別ス12巻145）

「あなたが聖書を調べるとき、聖霊があなたの傍らにいて、イエス・キリストを提示して下さい。」（あなたは力を受けるであろう 328）

- b. わたしたちの天来の案内者は、どれくらい多くのことをわたしたちに教えて下さいますか。またその教えの結果は何ですか（ヨハネ 14:26）。

「聖霊は聖書の研究の時に助けとしてわたしたちに与えられた。イエスは次のように約束された、〔ヨハネ 14:26 引用〕。聖書を研究書とし、聖霊の導きを求めて熱心に嘆願すると共に、真理によって聖化されるために心を完全に明け渡すとき、キリストが約束されたすべてのことが成就する。そのような聖書研究の結果は、よく均整のとれた思いである。理解力が活発になり、知覚力が目覚めさせられる。良心が敏感になり、同情と心情が精錬される。よりよい道徳的な雰囲気創造される。そして誘惑に抵抗する新しい力が与えられるのである。」（両親、教師、生徒への勧告 357）

個人的な復習問題

1. 過去において、どのように聖霊が神の民を助けてこられたか例を挙げなさい。
2. 何が真理であるかを学ぶために、聖霊はどのようにわたしたちを助けて下さいますか。
3. ペンテコステの日の聖霊の注ぎの後、弟子たちの理解はどのように変わりましたか。
4. 真の教師であるために要求されていることを、聖霊はどのように満たしていますか。
5. もしあなたが聖霊によってあらゆる真理に導き入れられるとしたら、あなたの側でどのような態度が不可欠ですか。

キリストのご生涯における聖霊

「わたしの支持するわがしもべ、わたしの喜ぶわが選び人を見よ。わたしはわが霊を彼に与えた。」(イザヤ 42:1)

「うまぶねから十字架にいたるまで、キリストの一生は克己への呼びかけであり、苦難を共にするようにとの呼びかけであった。それは人々の意図をあらわした。イエスは天の真理をもつておいでになったが、聖霊の声をきいていた者はみなキリストにひきつけられた。」(各時代の希望上巻 46, 47)

推奨文献： 各時代の希望上巻 112-119、291-303

日曜日

10月21日

1. 預言されたキリストの働き

- a. イエスの誕生の時に、どの預言が成就しましたか (イザヤ 7:14; ミカ 5:2; ルカ 1:35)。

「世の基礎が敷かれる前に、神のひとり子キリストは、アダムが罪を犯したら、人類の贖い主となることを誓われた。アダムは墮落し、世の始まる前から御父の栄光にあずかっておられたお方は、ご自分の王衣と王冠をわきへおいて、ベツレヘムに赤子となるためにご自分の高い御座を下られた。それはアダムがつまずき倒れた地を通ることによって、ご自分が墮落した人類を贖うことがおできになるためであった。このお方は罪のない生涯を送られることによって、すべてのアダムの息子むすめたちがはじめのこの世に罪をもたらしただけの誘惑に抵抗できるということを証された。」(セレクトド・メッセージ 1 巻 226)

- b. イエスの働きについて、バプテスマのヨハネは何を宣言しましたか (マタイ 3:11)。

2. 預言の成就

a. メシヤの生涯における聖霊の役割は何になるべきでしたか（イザヤ 11:2, 3; 61:1-3）。

「救い主がこの地上でなさるはずのお働きは、十分にそのあらましが説明されていた。『その上に主の霊がとどまる。これは知恵と悟りの霊、深慮と才能の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。彼は主を恐れることを楽しみと』する。この油を注がれたかたは『貧しい者に福音を宣べ伝え……心のいためる者をいやし、捕われ人に放免を告げ、縛られている者に解放を告げ、主の恵みの年とわれわれの神の報復の日とを告げさせ、また、すべての悲しむ者を慰め、シオンの中の悲しむ者に喜びを与え、灰にかえて冠を与え、悲しみにかえて喜びの油を与え、憂いの心にかえて、さんびの衣を与えさせるためである。こうして、彼らは義のかしの木となえられ、主がその栄光をあらわすために植えられた者となえられる』（イザヤ 11:2, 3; 61:1-3)」（患難から栄光へ上巻 240）

「彼の生涯には自己主張が混ざってはならなかった。世俗の人々が、地位、富、才能などにささげる敬意は、神のみ子にとって、無縁のものでなければならなかった。メシヤは人々の忠誠をかり得たり、または尊敬の念を起こさせることは、何一つ行ってはならなかった。……

メシヤは神のうちに隠れ、み子の品性のなかに神があらわされなければならなかった。」（国と指導者下巻 292, 293）

b. メシヤの働きに関するイザヤの預言は、いつ成就しましたか（ルカ 4:16-21）。

「イエスは、ご自身についての預言の生きた解説者として、人々の前にお立ちになった。イエスはいま読まれたことばを説明するにあたって、メシヤはしいたげられる者を救う者、とりこを解放する者、苦しんでいる者をいやす者、盲人に視力を回復する者、世に真理の光をあらわす者であるとお語りになった。イエスの印象的な態度と、そのみことばのすばらしい意味とは、聴衆がこれまでかつて感じたことのなかった力をもって、彼らを感動させた。神の力の波があらゆる障壁をうちこわした。モーセのように、彼らは目に見えないおかたを見た。彼らは、心が聖霊に動かされるままに、熱烈なアーメンと賛美とをもって主に答えた。」（各時代の希望上巻 293）

3. 霊に満たされた働き

a. 聖霊は、どのようにイエスの生涯に影響を与えましたか (ルカ 2:40, 52)。

「イエスは、天父の愛情にはぐくまれて『ますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛された』(ルカ 2:52)。イエスの知能は活発で鋭く、年令以上に思慮と知恵があった。しかしその品性は均整がとれて美しかった。心とからだの能力は、幼年時の法則に調和してだんだんに発達した。

子供としてイエスは、特にやさしい性質をあらわされた。彼はいつでも人に仕えるためによりこんで手をかされた。イエスは何ものにもさまたげられない忍耐力と、決して正直さを犠牲にするようなことのない真実さをあらわされた。主義においては岩のように固かったが、その生活には無我の親切心という美德があらわれていた。」(各時代の希望上巻 59, 60)

b. この地上におけるイエスの公生涯の働きの始まりに何がありましたか。イエスはわたしたちが従うべきどのような模範を残されましたか (マルコ 1:12, 13; ペテロ 第一 2:21, 22.)。

「イエスが誘惑されるために荒野に導かれたとき、神の御霊によって導かれたのであった。このお方は誘惑を招かれなかった。このお方は、ご自分の使命と働きを熟考するために、お一人で荒野に入って行かれるのであった。断食と祈りによって、このお方はこれから行かれる血染めの道のためにご自身を準備されるのであった。」(エレケッド・メッセージ 1 巻 227)

『この世の君が来るからである。だが、彼はわたしに対して、なんの力もない』とイエスは言われた(ヨハネ 14:30)。イエスの中にはサタンの詭弁(きべん)に应ずるものは何もなくあった。イエスは罪に同意されなかった。一つの思いにおいてさえ、彼は試みに負けたまわなかった。われわれもそうなるのである。キリストの人性は神性と結合していた。イエスは聖霊の内住によって戦いに備えられた。しかもイエスはわれわれを神のご性質にあずかる者とするためにおいでになったのである。われわれが信仰によってキリストにつながっているかぎり、罪はわれらの上に権をとることはできない。神はわれわれが品性の完全に到達できるように、われらの中にある信仰の手を求め、それをみちびいてキリストの神性をしっかり把握(はあく)させてくださるのである。」(各時代の希望上巻 135)

4. 霊の力において

a. イエスのバプテスマの後、ただちに何が起こりましたか (マタイ 3:16, 17)。

「水からあがってこられると、イエスは祈りのために川の岸にひざまずかれた。…

天使たちはこのような祈りをこれまできいたことがなかった。彼らは、愛する指揮官イエスに、保証と慰めのメッセージを伝えたいと熱望する。だがそれはできない。天父がご自身でみ子の祈願に答えられるのである。み座から直接に神の栄光が輝き出る。天が開け、いとも清い光がはどのような形をなして、救い主の頭上にくだる。それは柔和で心のへりくだったおかたであるイエスにふさわしい象徴である。……

キリストの上にくだった栄光は、われわれに対する神の愛の保証である。……開かれた門から救い主の頭上にさした光が、試みに抵抗するために助けを祈るとき、われわれの上にさすのである。イエスに語られたみ声が、信じているひとりびとりにむかって『これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である』と言われるのである (各時代の希望上巻 114, 116, 117)

b. 聖霊の力を通してイエスは何を成し遂げられましたか (ルカ 4:14; 使徒行伝 10:38; マタイ 12:28)。

「キリストはひとりの人間として、神のみ座の前に祈りつづけ、ついにはその人間性に天来の能力が通じ、人性と神性が結合された。彼は、神より生命を受け、生命を人々にお与えになった。」(教育 81)

「キリストのような伝道者は、まだ一度も現われたことがなかった。彼は天の王であられたのに、人々のいるところに行って彼らに接するために、へりくだって人性をお取りになった。富める者にも、貧しき者にも、自由な者にも、縛られた者にも、すべての人にとって契約の使者であるキリストは、救いの音信をたずさえてこられたのである。大治癒者としての名声はパレスチナ全体にひろがった。病人は助けを求めようと、キリストのお通りになるところにきた。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 6, 7)

「ガリラヤでの公生涯の終りごろ、イエスは、子供時代のふるさとをもう一度おたずねになった。ガリラヤで拒否されて以来、イエスの説教と奇跡についての評判は、国じゅうにゆきわたっていた。イエスが人間の力以上のものを持っておられることを、いまはだれも、否定することができなかった。ナザレの人たちは、イエスがよい働きをしながら、また悪魔に押さえつけられている人々をことごとくいやしながら、巡回されたことを知っていた。彼らの周囲には、村じゅうどこの家にも病人のうめき声のない村々があった。イエスがそれらの村々を通りすぎて、病気を全部なおしてくださったからである。イエスの生活の一つ一つの行為にあらわされたあわれみは、イエスが神からあぶらをそそがれたおかたであることを証明した。」(各時代の希望上巻 298)

5. み言葉によって生きる

- a. イエスが語られた言葉に靈感を与えたのはだれですか (ヨハネ 6:63; 8:28.)。

「世の人々にいのちを与えるキリストのいのちは、そのみことばのうちにある。イエスが病気をいやし、悪鬼を追い出されたのはそのみことばによってであった。そのみことばによって、主は海を静め、死人をよみがえらせられた。人々は彼のみことばに力があつたことをあかしした。キリストは、旧約のすべての預言者たちと教師たちを通して語られたように、神のみことばをお語りになった。聖書全体はキリストを表わすものであつて、救い主は、ご自分に従う者の信仰をみことばの上に固くすえようと望まれた。キリストの目に見える存在がとり去られたとき、みことばが彼らの力のみなもとでなければならない。主と同じように、彼らも『神の口から出る一つ一つの言で生き』るのであつた (マタイ 4:4)。」(各時代の希望中巻 139, 140)

- b. わたしたちはどのようにして神のみ言葉を、わたしたちの力の源とすることが出来ますか (エレミヤ 15:16)。

「われわれの肉体の生命が食物でささえられるように、われわれの霊的生命は、神のみことばによってささえられる。だからどの魂も、神のみことばから自分のためにいのちを受けるのである。栄養をとるには自分が食べねばならないように、われわれは、自分自身でみことばを受け入れねばならない。われわれは、みことばを他人の頭脳を仲介として受けるだけであつてはならない。神のみことばをさとることができるように、聖霊の助けを神に求めながら聖書を注意深く研究しなければならない。一節をとりあげて、神がわれわれのためにその一節のなかにおかれた思想を確かめる仕事に頭脳を集中しなければならない。われわれは、その思想がわれわれ自身のものとなるまで、それについて考えをめぐらさねばならない。その時われわれは、『主が言われたこと』を知るのである。」(各時代の希望上巻 140)

個人的な復習問題

1. 神の御子が、本物の人となってわたしたちの世に来て下さった一つの理由は何ですか。
2. キリストの生涯に示された聖霊の力は、どのようなものでしたか。
3. イエスの公生涯の始まりに、聖霊はどのように目に見える形で提示されましたか。
4. キリストの誘惑に対する抵抗は、信徒たちにとって、どのような意味を持っていますか。
5. キリストが生きられたように生きるために、あなたは自分で何をしなければなりませんか。

第一安息日献金 伝道地の文書のために

21 世紀に、インターネット、電子書籍、また他のメディアが、福音を伝える近代的な方法である一方では、なお独自に他の種類のメディアがとってかわることのできない融通のきく提示の方法があります。印刷された文書というのは、地の果て—電気のないところ—にまで福音が届く効果的な方法の一つです。この手段によって、良き知らせは旧共産圏、無神論やイスラム国家にまで入っており、一対一で分かち合うことができます。主のしもべは次のように言っています、「聖書の真理を含んだ出版物が秋の木の葉のようにまき散らされるようにしなさい」(天国で 323)。「わたしたちの出版物は至る所へ行くべきである。それらが多くの言語で発行されるようにしなさい。第三天使のメッセージは、この方法や生ける教師を通して伝えられなければならない。この時代のための真理を信じるあなたは目覚めなさい。真理を理解する人々を助けてそれを宣布できるようにするために、可能な限りあらゆる手段を用いることが、今あなたの義務である」(教会への証 9 卷 62)。



「告げ示し(出版し)、ほめたたえて言え、『主はその民イスラエルの残りの者を救われた』と」(エレミヤ 31:7)。神の民、イスラエルの残りの者は、救いの良き知らせを出版すべきです。わたしたちには多くの国々で、福音伝道のための聖書や書籍またパンフレットがありますが、まだ世界中には、同じ特権をもっていない多大な群衆がいます。世界中の様々な地域への文書配布を支援することは、わたしたちの義務であり栄誉です。聖書は多くの言語や方言に翻訳されてきましたが、まだキリストへの道、各時代の重大な書物を手に入れられない人々は何百万といます。もし今日現代の真理を探している人々と安息日聖書教科を分かち合うとしたら、どうでしょう。

まだ改革のメッセージが入っていない太平洋の島々やアフリカ諸国を考えてみてください。伝道の書 11:1 には、「あなたのパンを水の上に投げよ、多くの日の後、あなたはそれを得るからである」とあることを覚えていきましょう。わたしたちは遅すぎる前に神のみ言葉を広めなければなりません。わたしたちはすぐに結果は見えないかもしれませんが、しかし、後の雨が満ちみちてもたらされるときの大収穫を目撃できるのはそれほど遠い先のことではありません。わたしたちは地ではなく、天に宝を蓄える賢明な管理者となりましょう。

すでに貢献してこられた世界中の兄弟、姉妹、友人がたに非常に感謝しています。しかしかつてなかったほど必要は大きくなっています。ですから、この働きに惜しみない献金をしようではありませんか!

世界総会出版支部

天の最高の賜物

「イエスは彼に言われた、『わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない』(ヨハネ 14:16)

「わたしたちに聖霊を賜ることによって、神はわたしたちにご自身を与えて下さるのである。世に健康と命を与えるために、ご自身を神聖な感化力の泉として下さるのである。」(教会への証 7 巻 273)

推奨文献： 患難から栄光へ上巻 48-53

日曜日

10月28日

1. 別れの約束

a. イエスは、どの状況のために、ご自分の弟子たちを準備しておられましたか(ヨハネ 13:33)。

「[ヨハネ 13:33 引用]。弟子たちはこれを聞いてよろこぶことができなかった。恐れが彼らをおそった。彼らは救い主のまわりによりそった。彼らの主、愛する教師であり友人であられるおかた、それは彼らにとっていのちよりも大事なおかたであった。このおかたに、彼らは困難のたびに助けを、悲しみと失望の時に慰めを求めてきた。いまこのおかたが孤独な、たよっている群れである彼らから去ろうとしておられる。彼らの心は暗い予感に満たされた。」(各時代の希望下巻 143, 144)

b. イエスは、どの慰めの約束をご自分の弟子たちになさいましたか(ヨハネ 14:16, 17)。

「キリストは、ご自身をいけにえの供え物としてささげられる前に、ご自分に従う者たちに与える最も重要で完全な賜物をお求めになった。それは無限の恵みの資源を彼らの手のとどくところにもたらす賜物であった。」(同上 152)

「キリストはご自分の昇天後、ご自分の教会に、ご自分の最高の賜物として、慰め主、すなわちご自分に代わるお方をつかわすと宣言された。この慰め主は聖霊—このお方の命の魂、このお方の教会の効力、世の光であり、かつ命—である。ご自分の御霊と共にキリストは和解の感化力と罪を取り去る力を送られる。」(ビュー・アード・ワルド 1904 年 5 月 19 日)

2. キリストの代表者

- a. なぜ、慰め主を遣わされる前に、キリストは昇天なさる必要があったのですか（ヨハネ 16:7）。

「これより前に、みたまは世におられた。あがないの働きの最初から、みたまは人々の心に働きかけておられた。しかしキリストが世におられる間は、弟子たちはほかの助け手を望まなかった。キリストの存在が取り去られてはじめて彼らはみたまの必要を感じるようになり、そのときみたまがこられるのであった。」（各時代の希望下巻 152, 153）

- b. 聖霊が、キリストの代表者であられることを示しているのは何ですか（ヨハネ 14:18; 15:26）。

「聖霊はキリストの代表者であるが、人間の個性を備えておられないので、これに拘束されない。キリストは、人性の制約を受けておられたので、どこへでもみずから行かれるわけにいかなかった。だから、キリストが父のみもとに行かれて、地上におけるご自分の後継者として聖霊をお送りになることは彼らの利益であった。そうすれば、場所やキリストとの個人的接触などによる特典はだれにもないのであった。みたまによって、救い主はだれにでも近づくられるのであった。この意味において、主は、天にのぼられなかったとした場合よりも一層近く彼らのそばにおられるのであった。」（同上 153）

「聖霊は、ご自身に人間の個性を備えておられないので、これに拘束されない。〔キリスト〕はご自分の聖霊によって、どこにでもご臨在なさるお方として、すなわち偏在なさるお方として表されるのであった。」（原稿リ-ス 14 巻 23）

- c. キリストが今、仲保の御座に座しておられるという証拠は何ですか。これによって弟子たちは何ができるようになりますか（マタイ 28:18-20; 使徒行伝 1:8）。

「命を与えるお方は死の鍵を持っておられるだけでなく、豊かな祝福の全天をもっておられる。天地におけるあらゆる力は〔キリスト〕に与えられており、天の宮廷でご自分の場所につかれたため、このお方はこれらの祝福を、ご自分を受け入れるすべての人に分け与えることがおできになるのである。教会は御霊の力によってバプテスマを受けた。弟子たちは出て行ってキリストを宣布するのにふさわしい者とされた。まず、エルサレム、すなわち正当な王を侮辱する恥ずべき働きがなされた場所で、それから、地の果てにまで宣布するのであった。キリストが仲保の御国において就任された証拠が与えられた。」（今日のわたしの生涯 47）

3. 賜物の偉大さ

- a. イエスが聖霊の賜物を与えて下さったとき、どの預言が成就しましたか（詩篇 68:18; エペソ 4:8）。このお方の賜物はどれほど完全でしたか。

「キリストはご自分がこの地上から昇天なさるとき、ご自分を信じてきた人々とご自分を信じるようになる人々に賜物を与えようと決心された。仲保の御座に着くための昇天を記念し、飾るのにふさわしく、どのような豊かな賜物を授けることがおできになるであろう。それはこのお方の偉大さとこのお方の王位にふさわしいものでなければならない。このお方はご自分の代表者、第三の神格をお与えになることを決められた。この賜物にまさるものはなかった。このお方はすべての賜物を一つの賜物の中でお与えになった。であるから、神聖な御霊、すなわち改心させ、啓発し、聖化する力がこのお方の寄贈となるのであった。…それはあたかも長い間抑制されてきたが、今や教会に注ぎ出されたかのように、満ち満ちた力をもってもたらされるのであった。…

聖霊は人が受けることのできる最も高価な宝として送られた。」（今日のわたしの生涯 36）

- b. 恵みのどの賜物を、聖霊は教会に分け与えられましたか。それらはどのような目的のために与えられたのですか（エペソ 4:11, 12; コリント第一 12:8-11）。

「キリストが教会に託されたタラントというのは、特に、聖霊によって与えられるたまものと祝福のことである。〔コリント第一 12:8-11 引用〕。だれもが同じたまものを与えられるわけではないが、主のしもべにはだれにでも何かの霊のたまものが約束されているのである」。（キリストの実物教訓 301）

- c. これらの賜物はどれくらい長く必要とされるのですか（エペソ 4:13）。

「ここに、神はすべての人にその人の働きを与えておられることが示されている。そしてこの働きをなすことによって、人は神の偉大なご計画の中で、自分の役割を果たすのである。すべての忠実な働き人たちは聖徒たちを完全にするために働く。神の僕の仕事によって益をこうむってきたすべての人々は、自分たちの能力に従って、魂の救いのために働く彼と一致すべきである。これがすべての真の信徒たち、牧師たち、民の仕事である。彼らはいつも大きな目的を視野に置いて、各々教会における自分の適切な地位を満たすことを求めるべきである。そしてすべての者は秩序と調和と愛のうちに共に働くべきである。」（ビュ・アンド・ヘルド 1908 年 11 月 12 日）

4. 満ち満ちた神の徳によって満たされる

- a. 新しい契約の約束には、どの祝福が含まれていますか（ガラテヤ 3:14; 使徒行伝 3:25, 26）。

「聖霊はキリストの御霊であり、このお方の代表者であられる。ここに心に確信を与える神聖な代理人がおられる。」（原稿リ-ス 13 巻 313）

「聖霊の約束は一時代や一民族に限られたものではない。キリストは、み霊の聖なる感化は世の終わりにいたるまで、キリストに従う者の上にあると宣言なさった。ペンテコステの日から現代にいたるまで主とそのみわざに自分のすべてをささげてきた人々に、助け主が送られてきた。キリストを個人的な救い主として受け入れたすべての者に、聖霊は助言者、聖別する者、導き手、証人としてのぞんだ。」（患難から栄光へ上巻 45）

- b. わたしたちが聖霊を受けるとき、どの経験がわたしたちのものとなりますか（ローマ 5:5; エペソ 3:16-19）。

「ここに、われわれが神の要求に応じるときに、われわれの天の父の約束を信じる信仰によって到達することのできる最高点が示されている。われわれは、キリストの功績によって、無限の力を持たれるおかたのみ座に近づくのである。『ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜わらないことがあろうか』（ローマ 8:32）。父なる神は、み子に聖霊をあふれるばかりにお与えになった。」（各時代の犬争闘下巻 207）

「キリストが信仰によってあなたの心に宿られるとき、この豊かな経験があなたのものとなる。そのとき、あなたは愛があなたの心の中に流れ込み、すべての愛情、すべての思想を征服し、それらをキリストのとりことするのがわかる。あなたはそれを説明することができない。人間の言葉では決してキリストの愛がどのように魂を所有し、思いのすべての力を取りこへと導くことができるのか説明できない。しかし、あなたは個人的な経験によってそれを知ることができる。」（レ・ビュー・アンド・バード 1892 年 3 月 15 日）

「これこそ、われわれが力を受ける手段なのだから、み霊の賜物を飢えかわくように求めようではないか。それについて語り、そのために祈り、そのことについて説教しようではないか。」（患難から栄光へ上巻 46）

5. 恵みの御座に嘆願する

- a. 聖霊の賜物を受けるために、わたしたちは何をしなければなりませんか（ルカ 11:13）。

「両親がその子供たちによい贈り物を与えるときよりもっと気持ちよく、主は人々に聖霊を与えてくださる。み霊のバプテスマを日ごとに受けるためには、働き人がめいめい神に願いをささげなければならない。クリスチャンの働き人は仲間同士集まって、いかに計画し、賢く実行するかということを知ることができるように、特別な助けと天来の知恵を求めなければならない。彼らは特に神がみずからお選びになった大使たちに、任地でみ霊を豊かに注いでくださるように、祈らなければならない。」（患難から栄光へ上巻 46）

- b. わたしたちの神への要望には何が含まれているべきですか（詩篇 51:9-12）。

「悔い改めは許しと同様に、キリストを通して与えられる神の賜物である。わたしたちが罪を自覚し、許しの必要を感じるのは、聖霊の感化を通してである。悔い改めた者でなければ許されることはない。しかし、心を悔いさせるのは、主の恵みである。このお方はわたしたちのすべての弱さや欠陥をよくご存じであり、それゆえにわたしたちを助けて下さる。このお方は信仰の祈りを聞いて下さる。しかし祈りの誠実さは、すべての人の品性を試す偉大な道徳的標準に自ら調和しようとするわたしたちの努力によってのみ証明することができる。わたしたちは御霊の感化力に対して自分たちの心を開きそしてその変化させる力を経験する必要がある。」（ビュー・アード・ヘラルド 1884 年 6 月 24 日）

個人的な復習問題

1. 聖霊の賜物はなぜすべての弟子たちにとって、これほどまでに慰めに満ちた約束だったのですか。
2. 聖霊はわたしたちに対して、だれを代表しますか。
3. なぜ聖霊は、イエスがご自分に従う人々にお与えになることのできる最大の賜物なのですか。
4. わたしたちが聖霊に屈服するとき、新しい契約のどの祝福が成就しますか。
5. 約束された賜物を考慮するとき、わたしたちの祈りはどのようになるべきですか。

天の力

「わたしたちの行った義のわざによってではなく、ただ神のあわれみによって、再生の洗いを受け、聖霊により新たにされて、わたしたちは救われたのである。この聖霊は、わたしたちの救主イエス・キリストをとおして、わたしたちの上に豊かに注がれた。」(テトス 3:5, 6)

「罪に抵抗してこれに打ち勝つ唯一の道は、制限された力ではなく天来の満ち足りた力をもってこられる第三位の神、聖霊の偉大な働きを通してである。世のあがない主によって達成されたことに効果を与えるのはみたまである。」(各時代の希望下巻 156, 157)

推奨文献： 各時代の希望下巻 143-172

日曜日

11月4日

1. 創造の力

- a. 父なる神の指示の下、神の御霊はどの働きに深く関わっていましたか(創世記 1:1-3, 26; ヨブ 33:4)。

「物質も霊的なものもすべて、神のみ声にしたがって主の前に立ち上がり、神ご自身の目的のために創造されたのである。天とその万軍、地とその中のすべてのものが神の口の息によって出現したのである。」(ミニストリー・オブ・ヒーリング 387)

- b. はじめの人は神から何を受けましたか。これは、霊的な命が新たにされることを、どのように例証していますか(創世記 2:7; ヨハネ 20:22)。

「聖霊は魂における命の呼吸である。キリストがご自分の弟子たちに息を吹きかけられたことは、真の霊的な命の呼吸であった。弟子たちはこれを自分たちの救い主の属性を吹き込まれたものと解釈すべきであった。それによって純潔と信仰と従順のうちに、彼らが律法を高め、それを尊ぶことができるためであった。」(レビュー・アンド・ハラルド 1899 年 6 月 13 日)

2. 再生の力

- a. わたしたちの世界の創造と、魂の贖いの間には、どのような類似点がありますか(コリント第二 4:6; エペソ 2:10)。

「自然界は、罪のために傷つけられてはいるものの、いぜんとしてそれは神の創造について語り、また救済について語っているのである。地は衰滅という明らかなしるしを通して、罪ののろいをあかししているが、しかもなお生命を与える能力を、豊かに美しく表象している。木々はその葉をふるいおとしても、それはもつと新しい緑したたる衣をまとい、花はしばむが、やがてまた新しい美しさに姿を装ってあらわれる。神の創造力の一つ一つの現われには、われわれ人間が、『真の義と聖』の中に、再び新しく創造され得るとの確証が示されている。このように、自然界の事物と営みは、人類の大損失をわれわれの心にはつきり思い出させるが、一方にはまたわれわれに希望をもたらし使者となるのである。」(教育 18, 19)

- b. 人が罪を犯し、それによって永遠の命を失ったとき、だれが新生のための代理人となりましたか(ヨハネ 3:5, 6)。

「新生によって表されている心の変化は、ただ聖霊の効果的な働きによってのみ成し遂げられる。それだけがわたしたちをすべての不純から清めることができる。もしそれがわたしたちの心を形成し、形づくることを許されるなら、わたしたちは神の御国の性質を識別し、わたしたちがこの御国に入ることができるようになる前になされねばならない変化の必要性を自覚できるようになる。誇りと自己愛は神の御霊に抵抗する。魂のすべての生来の傾向は、自己尊重と誇りから、キリストの柔和と心の低さへ変わることに反対する。しかし、もしわたしたちが永遠の命への道を進みたいならば、自己のささやきに耳を傾けてはならない。へりくだりと悔悟のうちに、わたしたちは天父に『神よ、わたしのために清い心をつくり、わたしのうちに新しい、正しい霊を与えてください』と嘆願しなければならない(詩篇 51:10)。神聖な光を受け、天来の知的存在者たちと協力するとき、わたしたちは『新しく生まれ』る。キリストの力によって罪の汚れから自由にされるのである。」(あなたは力を受けるであろう 24)

「この新生は、キリストを神のことばとして受け入れた結果である。聖霊によって神の真理が心に刻まれると、新しい思いが喚起され、これまで眠っていた力が呼びさまされて神と協力する。」(患難から栄光へ下巻 219)

3. 勝利する力

- a. 洪水前も後も、罪人の良心に絶えず働きかけていたのは、だれですか（創世記 6:3）。

「神の御霊は特別に定められた時がほとんど満ちようとする時、すなわちノアとその家族が箱舟に入り、神のみ手とその扉を閉める時まで、反逆する人類と争い続けられた。憐れみは黄金の御座から降り、もはや有罪の罪人のためにとりなすことをしなかった。」（キリストを映して 321）

「神聖な慰め主は憐れみと同情に満ちておられる。このお方は人を神に同意させようと努め、彼らの注意をありのままのキリストへ、すなわち憐れみと同情と許しの愛に満ちたお方としてこのお方に引きつけようと努めておられる。」（ハイデル・エー 1894 年 3 月 19 日）

- b. わたしたちはみなどのような戦いに関与しており、だれがそれを指揮していますか（エペソ 6:12）。

「悪の力の君は、ただ第三の神格、聖霊における神の力によってのみ抑制することができる。」（伝道 617）

『キリストに従う人々』は超自然の勢力と戦うのであるが、しかし超自然の助けが保証されている。天のすべての天使たちがこの軍勢の中にいる。また天使たちよりも強いおかたがこの隊列の中におられる。主の軍勢の隊長を代表される聖霊が、戦闘を指揮するためにくだってこられる。われわれの弱点は多く、われわれの罪と過失は悲しむべきものかもしれない。だが神の恩恵は、悔いた心でこれを求めるすべての人に与えられる。全能者の力は、神に信頼する人に協力するのである。」（各時代の希中巻 84）

- c. どのようにしてのみ、悪に抵抗することができますか（コリント第一 2:4, 5; エペソ 3:16）。

「罪に抵抗してこれに打ち勝つ唯一の道は、制限された力ではなく天来の満ち足りた力をもってこられる第三位の神、聖霊の偉大な働きを通してである。世のあがない主によって達成されたことに効果を与えるのはみたまである。心が清くされるのはみたまによってである。みたまによって、信者は神の性質にあずかる者となる。すべての先天的後天的な悪の傾向に打ち勝つ天来の力として、またご自身の品性を教会に印象づける天来の力として、キリストはみたまをお与えになった。」（同上下巻 156, 157）

4. 啓発する力

- a. 聖霊が心の中に宿ることを許す人々には、聖霊がどのような導きの光を与えて下さいますか (詩篇 119:105; イザヤ 30:21)。

「われわれが聖霊を用いることはできない。みたまがわれわれを用いてくださるのである。みたまを通して、神は民のうちに働き、『その願いを起させ、かつ実現に至らせ』てくださるのである(ピリピ 2:13)。しかし多くの者はこれに従おうとしない。彼らは自分で自分を支配したいのである。これが、彼らが天の賜物を受けない理由である。みたまは、へりくだった心で神に仕え、そのみちびきと恵みを待ち望む者にだけ与えられる。神の力は彼らが求め、受けるのを待っている。この約束された祝福を信仰によって求めるときに、ほかのすべての祝福は次々と与えられる。それはキリストの恵みの富にしたがって与えられるのであって、主はどの魂にもその受け入れる能力にしたがっていつでも与えてくださる。」(各時代の希望下巻 158)

「神はご自分のみ言葉を通して語り、信仰と義の道を、栄光へ続く唯一の道として指し示しておられる。キリストの御霊を持つすべての人々は聖書に高い価値を置く。なぜなら、それらは神の託宣だからである。それらはあたかもイザヤから聞こえる声でわたしたちに語られたかのように、実際に『これは道だ、これに歩め』と言っておられる神聖な伝達である。ああ、もし民がこれを信じさえしたら、彼らが聖書を調べるときに、何という畏敬、何という敬神、何という魂の平伏が、伴うことであろう。それは永遠の命への道を示しているのである!」(原稿リ-ス 4 巻 212)

- b. クリスチャンの歩みにおいて、つねに何をしよう努力すべきですか (使徒行伝 24:16)。

「あなたの良心を神のみ言葉の許へ持って行き、自分の生活と品性が神の明らかにされた義の標準に一致しているかどうかを調べなさい。あなたはそのとき、自分が知的な信仰を持っているかどうか、あなたがどのような種類の良心を持っているかを判断することができる。人の良心は、神聖な恵みの感化の下になければ信頼できるものではない。…」

人が自分の良心の言うことに従って、自分は安全だと思うだけでは十分ではない。…はつきりしなければならぬ問題は、その良心が神のみ言葉と調和しているかということである。もしそうでなければ、それに従うことは安全ではない。なぜなら、それは欺くからである。良心は神によって啓発されなければならない。聖書研究と祈りに時間を充てなければならない。こうして思いは確立し、強められ、定まるのである。」(わたしたちの高い召し 143)

5. 仲保の力

- a. 天において、御父の御前でイエスの役割は何ですか（テモテ第一 2:5; ローマ 8:34）。

「イエスは神の御前で、ほふられた小羊がほふられたように、ご自分が流された血を捧げて、職務を執り行っておられる。イエスは罪人のすべての違反とすべての欠点のために捧げる供え物を提示しておられる。」(SDA パイブル・コメンタリ [E・G・ホワイト・コメント] 6 巻 1077)

「[イエスは] わたしたちを個々に考えて下さる。そしてわたしたちのすべての必要をご存じである。誘惑されるとき、ただこう言いなさい、このお方はわたしを心にかけておられる、このお方はわたしのためにとりなしておられる、このお方はわたしを愛しておられる、このお方はわたしのために死なれた。わたしは自分自身を余すことなくこのお方にお捧げすると。」(牧師への証 391)

- b. 罪人が祈りのうちに神の御前に来るとき、聖霊はどのように助けて下さいますか（ローマ 8:26）。

「わたしたちの仲保者キリストと、聖霊は、絶えず人間のためにとりなして下さいっている。しかし、御霊は、世のはじめから流されたご自分の血を捧げるキリストがなさるように、わたしたちのために嘆願なさるのではない。御霊はわたしたちの心に働きかけて、祈りと悔い改め、讃美と感謝を引き出される。わたしたちの口からあふれる感謝は、聖霊が聖なる記憶のうちに、心の魂の琴線に触れ、心の音楽をかなでた結果である。」(SDA パイブル・コメンタリ [E・G・ホワイト・コメント] 6 巻 1077, 1078)

個人的な復習問題

1. 聖霊は魂にとって何ですか。
2. 再生の代理人として、聖霊はどのように働かれますか。
3. 聖霊は、悪の勢力との戦いにおいて、どの役割を果たして下さいますか。
4. 神と人の前に正しい良心に従って生きるとは、どういう意味ですか。
5. 御霊のとりなしは、キリストのとりなしと、どのように異なりますか。

神の教会を導く

「そう言って、彼らに息を吹きかけて仰せになった、『聖霊を受けよ。』(ヨハネ 20:22)

「神と生きたつながりを持っているすべての人は、このお方の勧告によって導かれる。教会組織の中で一致し、彼らはキリストのみわざに献身する。もしわたしたちがイエスに対して戸を開くならば、このお方は入ってこられて、わたしたちと共に宿られる。わたしたちの力は、いつもこの実際の代表者、聖霊によって強められるのである。」(ビュー・アンド・ワルド 1897年2月23日)

推奨文献： 患難から栄光へ上巻 89-99

日曜日

11月11日

1. 旧約時代における聖霊

- a. モーセの生涯において、特別にどの時に、聖霊の働きが見られましたか(民数記 11:16, 17, 25)。

「ペンテコステの日の弟子たちのように、〔70人の長老たち〕は、『上からの力』に満たされた。こうして、主は、彼らの任務のために準備を与え、会衆の前で彼らに栄誉をお与えになった。それは、この人々がモーセと一致して、イスラエルの統治をするために、神に選ばれた者であるという信頼を人々が持つためであった。」(人類のあけぼの上巻 456)

- b. どのような方法で、ヨシュアは神によって自分の働きのために準備され、指示されましたか(民数記 27:18; 申命記 34:9; 31:22, 23)。

「〔ヨシュアは〕、忠実な羊飼いとて、イスラエルの民を導くという将来の重要な働きのために、最も厳粛に捧げられた。『ヌンの子ヨシュアは知恵の霊に満ちた人であった。モーセが彼の上に手を置いたからである。イスラエルの人々は彼に聞き従い、主がモーセに命じられたとおりにおこなった。』(霊的な賜物 4a 巻 56)

2. 使徒たちの時代に

- a. 福音の任務を遂行するのに必要な力を、初期の弟子たちはどのように得ましたか（ヨハネ 20:21-23; マルコ 16:20）。

「弟子たちが教会に関連した正式の義務を果たすことができる前に、キリストはご自分の霊を彼らに吹きかけられた。キリストは、非常に神聖な責任を彼らに委託しようとしておられたので、聖霊なしにはこの働きは達成されないということを彼らに印象づけようと望まれた。

聖霊は、魂の中の霊的生命の呼吸である。みたまを与えることはキリストのいのちを与えることである。それは、受ける者にキリストの属性を吹き込む。このように神から教えられる人たち、心のうちにみたまの働いている人たち、その生活にキリストのような生活をあらわす人たちだけが、教会を代表する者として立ち、教会を代表してその任務を行なうのである。」（各時代の希望下巻 342, 343）

「弟子たちは、キリストから与えられた任務を果たした。十字架の使命者たちが出かけて行って福音を宣べ伝えたとき、かつて人間が見たことのないほど神の栄光があらわされた。聖霊の協力によって、使徒たちの働きは世界を動かした。」（患難から栄光へ下巻 301）

- b. 霊的に成長するために、最初の教会は何をしましたか（使徒行伝 2:42）。

「ペンテコステの日から現代にいたるまで主とそのみわざに自分のすべてをささげてきた人々に、助け主が送られてきた。キリストを個人的な救い主として受け入れたすべての者に、聖霊は助言者、聖別する者、導き手、証人としてのぞんだ。信ずる者たちは、神に密接につながって生活すればするほど、あがない主の愛と救いの恵みについて一層はっきりと力強くあかした。」（患難から栄光へ上巻 45）

「そうであれば、わたしたちは自分自身を見るのをやめて、あらゆる徳がもたらされるお方を見ようではないか。だれも自分自身をより良くすることはできないが、すべての罪のしみや汚れからきよめて下さるように真剣に願いつつ、ありのままイエスの許へ来て、聖霊の賜物を受けなければならない。…生きた信仰によって、わたしたちはこのお方の約束をつかまなければならない。なぜなら、このお方は次のように言われたからである。『たといあなたがたの罪は緋のようであっても、雪のように白くなるのだ。紅のように赤くても、羊の毛のようになるのだ。』」（キリストを映して 213）

3. 生きた成長する教会

a. 初期の教会の力は何でしたか (使徒行伝 4:32; 2:46, 47 (上句))。

「すべてのクリスチャンは、自分の兄弟のうちに神に似た愛と慈愛を見た。一つの関心が行き渡った。模倣するという一つの主題が他のすべてを飲み込んだ。信徒たちの唯一の壮志は、キリストのご品性に似た姿を現わし、このお方の御国の拡張のために働くことであった。」(教会への証 8 巻 20)

b. 信徒たちの間にある一致は、どのように福音の働きに影響を及ぼしましたか (使徒行伝 4:33; 2:47 (後句))。

「弟子たちは自分自身のために祝福を求めたのではなかった。彼らは魂の重荷を負っていた。福音は地の果てまで伝えられなければならなかった。そして彼らはキリストが約束された力を授けて下さるよう主張したのである。そのとき、聖霊が注ぎ出されて、幾千もの人々が一日に改心した。」(同上 21)

c. わたしたちはどのように同じ一致の精神を持つことができますか。それはどこから始まりますか (ピリピ 2:3)。

「キリストに近づけば近づくほど、私たちは互いに近くなる。神の民が一致して協力的な行動をとるとき、神があがめられる。」(アドベンチスト・ホーム 179)

「主イエスのこと、そしてこのお方の功績と愛を考えなさい。しかし、欠点を探そうとしたり、他の人が犯したあやまちをいつまでも考えてはならない。あなたの思いを、あなたの認識と賞賛に値するものへ向けなさい。もしあなたが他の人々の過ちを識別するのに鋭ければ、良いことを認め、良いことを賞賛するのにもっと鋭くなりなさい。あなたは自分自身を批判するとき、あなたが他の人々のうちに認めるのと全く同じくらい好ましくないものを見つけたであろう。そうであれば、わたしたちは最も聖なる信仰のうちに互いに強めるために働こうではないか。」(わたしたちの高い召し 232)

「人びとをキリストに導こうとして、彼らのために祈りをささげるときに、わたしたち自身の心が神の恵みの生きた感化によって脈打つのである。わたしたち自身の愛の心が、神からの熱を受けて、もっと燃えるようになり、わたしたちのクリスチャン生活はもっと現実で、もっと熱心で、祈りに満ちたものとなることであろう。」(キリストの実物教訓 330, 331)

4. 責任を委任する

a. 教会が大きくなったとき、何が必要になりますか（使徒行伝 6:1, 2）。

「聖霊の力により、固く一致して働いていた使徒たちの賢明な指導のもとに、福音の使命者にゆだねられた事業は速やかに進展していた。教会は絶えず拡張していた。信者の数がふえるにつれて、責任のある人々の重荷は重くなる一方だった。人がひとりで、いや、仲間が数人集まっても、彼らだけでこれらの重荷を担っていかうとすれば、教会の将来の繁栄は危くなるであろう。そこで教会の初期のころ、わずかな人々が忠実に負ってきた責任の分担が、これからは必要となった。今や使徒たちはそれまで自分たちだけでささえてきた責任の一部を、他の人たちに任せることによって、教会内の組織を完全にすることの大切な手段を講じなければならなかった。

聖霊に導かれた使徒たちは、信者を集めて、教会のあらゆる活動力を更に組織だてて計画のあらましを話した。教会を監督している霊的指導者らは、貧しい人々に配給するというような仕事をのがれて、福音宣伝事業の前進に専念すべき時がきたのだと、彼らは説明した。」（患難から栄光へ上巻 90, 91）

b. どの基礎に基づいて、教会の新しい役員たちの選出が行われましたか（使徒行伝 6:3, 4）。そのような問題において、だれが導くべきですか（使徒行伝 13:2; 20:28）。

「この特別な仕事を監督するために七人が任命されたことは、教会に大きな祝福となった。この役員たちは教会の全般的な財政面だけでなく、個人の必要を慎重に考慮した。そしてその賢明な管理と敬虔な模範によって、教会の各方面の利害関係を統一して全体にまとめる上に、共労者たちの大切な助けとなった。」（患難から栄光へ上巻 91）

「賢明な主は、すべての信徒が守らなければならない、密接なつながりという手段によって、クリスチャン同志、教会同志が一つに結ばれるよう計画なさった。こうして人間の器は神と協力できるのである。すべての働きが聖霊に従属し、すべての信徒が組織的に、よい指揮のもとに一致し、神の恵みのよろこばしいおとずれを世に伝えるようになるのである。」（同上 176）

5. 神聖な感化力の必要

- a. 神のみ言葉から教える人々に、聖霊はどのような感化を及ぼすべきですか（コリント第一 2:1-4, 10-13）。
- b. 全時代を通じて、キリストがご自分に従う人々に約束された賜物を受ける条件は何でしたか（使徒行伝 2:38, 39; 5:32）。なぜ今日、わたしたちはこの賜物をもっと十分に受けないのですか。

「わが兄弟姉妹がた、わたしはキリストの教会が、どんなに弱く欠点があろうとも、このお方が地上で最高の関心を注がれる唯一の対象であることを証する。このお方は全世界にご自分の許へ来て救われるようにとの招きをなさるが、このお方は悔い改めと悔悟のうちにご自分の許へ来るすべての魂に神聖な助けを与えるようにとの任命をご自分の御使たちに与える。そしてこのお方ご自身が聖霊によって、ご自分の教会の真ん中に来られるのである。」（牧師への証 15）

「キリストは、御霊の神聖な感化力が終わりまでご自分に従う人々と共にあると宣言された。しかし、この約束は正しく評価されるべきほど評価されていない。そのため、その成就是見られるべきほど見られていない。御霊の約束はあまり考えられていない。そのため、結果は予期通りである。すなわち、霊的な干ばつ、霊的な闇、霊的な衰退、そして死である。主要でない事柄が注意を集めている。そして教会の成長と繁栄のために必要な神聖な力、他のすべての祝福を次々ともたらす神聖な力が、無限の豊かさのうちに提供されていながら、欠けているのである。」（教会への証 8 巻 21）

個人的な復習問題

1. モーセの時代に、神の選ばれた使命者として認められた 70 人を神はどのようにお認めになりましたか。
2. なぜキリストは弟子たちに聖霊を吹きかけられたのですか。これは今日わたしたちにとってどのような意味がありますか。
3. 神が今日ご自分の教会にご自分の聖霊を注ぐことがおできになる前に何が必要ですか。
4. 聖霊は、教会の組織において、どのように助けて下さいますか。
5. なぜ今日教会において聖霊にもっと大きな感化力がないのですか。

注意を払う必要性

「神の聖霊を悲しませてはいけない。あなたがたは、あがないの日のために、聖霊の証印を受けたのである。」(エペソ 4:30)

「今日も、教会の中で、教会員たちが聖霊の力に導かれて、世俗的なことがらへの愛着を捨て、自分たちの同胞に福音を伝えるために、よろこんで犠牲をはらうことが見られるならば、宣べ伝えられる真理は、聞くものの心を力強く動かすであろう。」(患難から栄光へ上巻 71)

推奨文献： 患難から栄光へ上巻 70-77;
各時代の希望中巻 37-46

日曜日

11 月 18 日

1. 初期教会における美しい精神

a. 初期の教会を際立たせた特徴は何でしたか (使徒行伝 2:44, 45; 4:34-37)。

「初期の信者たちの多くは、ユダヤ人の激しい頑迷さのために、たちどころに家族や友人の縁を切られてしまったので、彼らのために食物や宿を心配する必要があった。

記録によると『彼らの中に乏しい者は、ひとりもいなかった』と書かれており、彼らの必要がいかに満たされたかを伝えている。金銭や持ちものに恵まれた信者たちは、危急の場合によろこんでこれを提供した。彼らは自分たちの家屋や地所を売り、その代金を持ってきて、使徒たちの足もとに置いた。『そしてそれぞれの必要に応じて、だれにでも分け与えられた。』

信者たちのこのような寛容さは、聖霊が注がれた結果であった。福音を受け入れた人々はみな、『心をついにし思いをついにし』た。彼らの心はただ一つの共通な関心事に支配されていた。それは彼らに委託された伝道事業を成功させることであった。彼らの生活に、貪欲がはいり込む余地はなかった。兄弟たちへの愛や自分たちが引き受けた働きに対する愛は、金銭や所有物に対する愛よりも強かった。彼らは地上の富よりも人の魂を高く評価していることを、実際の働きで証拠だてた。」(患難から栄光へ上巻 70, 71)

2. 偽善とその速やかな刑罰

- a. 初期の教会における多くの人々の無我の精神の一方で、どの問題が生じましたか（使徒行伝 5:1, 2）。

「深い確信がその場にいたすべての者にやどり、直接に神のみ霊の感化を受けたアナニヤとサツピラは、ある資産を売った収益を神にささげる誓いを立てていた。

後になってアナニヤとサツピラは欲深い気持ちに負けて、聖霊を嘆かせた。ふたりは約束を後悔しはじめた。そしてキリストのみわぎのために立派なことをしたいという願いで心を燃やしてくれた、新鮮な尊い感動を失った。彼らは早まったことをしたと思った。だから自分たちの決心を考え直さなければならない。ふたりはそのことを話し合い、自分たちの誓約を果たさないことに決めた。」（患難から栄光へ上巻 71, 72)

- b. 聖霊に導かれて、ペテロは何を発見しましたか。アナニヤの本当の罪は何でしたか（使徒行伝 5:3, 4）。

「アナニヤは、不当な力が加えられたために、強制されて自分の財産をみんなの益となるようにささげたのではない。彼は自分で選択し、行動したのである。しかし弟子たちを欺こうとして、神を欺いていた。」（同上 73)

- c. アナニヤの罪が明らかにされた後、何が起こりましたか（使徒行伝 5:5, 6）。

「神の無限の英知は、この注目すべき神の怒りの顕示が、若い教会を道徳的な墮落から守るために必要であったことを見通しておられた。信徒たちは急速にふえていった。この信徒数の急増するなかで、神に仕えることを表明しながら、富を礼賛している男女が加えられていたとすれば、教会は危機に陥ったであろう。この刑罰は、人は神を欺くことができない、また、神は心にかくされている罪を見通しになられて、欺かれることがないことを立証した。この刑罰は教会員を虚偽や偽善に陥らぬよう導き、神のものを盗まぬよう用心させるために、教会に与えた警告としてもくろまれたのである。」（同上 73, 74)

3. 神がご覧になる偽善

- a. その後、アナニヤの妻にどの質問がなされましたか。彼女はどのように答えましたか（使徒行伝 5:7, 8）。

「神が貪欲や詐欺や偽善を憎むことを示されたこの実例は、初代の教会ばかりでなく、後につづくすべての時代に対して与えられた危険信号であった。アナニヤとサッピラが最初にいだいたのは貪欲であった。彼らは神に約束したものの一部をとっておきたいと望んだために、詐欺と偽善に陥ったのである。」（患難から栄光へ上巻 74）

- b. ペテロはサッピラの注意をどの罪に向けましたか。何が悲劇的な結果でしたか（使徒行伝 5:9, 10）。

「神は偽善と虚偽を憎まれる。アナニヤとサッピラは神との取り引きで詐欺行為を行った。彼らは聖霊を欺いたために、その罪はたちどころに厳しく罰せられた。」（同上 72）

- c. 神はすべての偽りをどのようにご覧になりますか（箴言 12:22; 黙示録 21:27）。

「誇張と欺瞞と偽りは、この世では大いに取り扱われている。しかし、真理を信じると公言する人々が不義を行うのであろうか。彼らはどこにでも存在する公害を集めて、正しい人と呼ばれているかもしれないが実は悪を行う人々と、自ら一体になるのであろうか。心をご覧になり、罪をわずかでも見逃すことがおできにならないお方は、神の子だと主張する人々のうちにある偽善を容認されることはない。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1893 年 12 月 19 日）

「事実でないことを語る人は、自分の魂を安売りするのである。彼のうそは、とつぎの場合の役に立つように見えるかもしれない。こうして、彼は正当なやり方では望めないような商売の発展を期待するかもしれない。しかし最後には、だれも信頼できなくなる。自分がかうそつきであるために、ほかの人の言葉を信用できないのである。…

同様の罪は教会の後の歴史の中でもしばしば繰り返された。今日でも多くの人々により同じ罪が犯されている。しかし、たとえそれに対する神のご立腹が目に見えるようにあらわれなくとも、使徒の時代と同じように今日も神の御目にそれは憎むべきものである。」（患難から栄光へ上巻 77）

4. 聖霊に対する罪

- a. 聖霊に対する罪には全般的に何が含まれていますか (エレミヤ 29:19; ルカ 13:34)。

「恵みの招待を軽んじ、恵みのみたまを侮辱した者ほどかたくな者はいない。聖霊に対する罪として最も一般的なものは、悔い改めをうながす天の招きをどこまでもあなどることである。キリストをこばむ一步一步は、救いをこばみ、聖霊に対して罪を犯す一步である。」(各時代の希望中巻 42)

- b. 他にどの罪が、聖霊に対する罪へと導くかもしれませんか (マタイ 12:34-37)。

「聖霊に対する罪についてのキリストの警告と密接な関係があるのは、むなしいことばや悪いことばに対する警告である。ことばは心のうちにあるものを示す。……疑いのことばを口に出すことは危険である。すなわち天来の光を疑ったり批判したりすることは危険である。不注意で不敬な批判をする習慣は品性に作用し、不敬と不信の念を助長する。この習慣をほしいままにしていた多くの人々が、危険を意識しないで続けているうちに、ついには聖霊の働きを批判したりこぼんだりするようになった。イエスは、『あなたは、自分の言葉によって正しいとされ、また自分の言葉によって罪ありとされるからである』と言われた。」(同上 40)

- c. 罪に対する戦いにおいて、わたしたちは何を覚えているべきですか (マタイ 6:24)。

「われわれはこの世の主権を争っている二大勢力のどちらかに必然的に支配されるのである。暗黒の王国の支配にはいるためには、わざわざその国の奉仕をえらぶ必要はない。光の王国と同盟することをおこたりさえすればよいのである。もしわれわれが天の勢力と協力しなければ、サタンは心を占領してそこを永住の地とする。悪に対する唯一の防備は、キリストの義を信じる信仰によって、心のうちにキリストに内住していただくことである。……われわれは、多くの悪い習慣をやめ、しばらくの間はサタンとのまじわりをたちぎっているかも知れない。だが時々刻々に神に献身することによって、神とのいのちのつながりを持っているのでなければ、われわれは打ち負かされてしまう。」(同上 41, 42)

5. 真理の精神を培う

- a. 神はどの品性の資質を、どの状況の下で評価なさいますか（コリント第二 8:21; ヘブル 13:18）。

「真実を語ることと率直さは、いつもキリストに従うと主張するすべての人が大切にすべきである。神と正しいことが、モットーであるべきである。この現代の悪の世において、正直に正しくふるまいなさい。ある人々は自分の世俗的な利益が危険にさらされないとわかっているときには正直であるが、この原則に従って行動するすべての人は、命の書から名前が削除される。

厳密な正直を培わなければならない。わたしたちはこの世をただ一度通過できるだけである。どんな過ちも戻ってきて正すことはできない。そうであれば、一つ一つの動きは信心深い恐れと注意深い考慮をもってなされるべきである。」（SDA パイプ・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 6 巻 1081）

- b. わたしたちが真理を探るとき、聖霊はどのように助けて下さいますか（ヨハネ 16:13）。

「真心から真理を求める者はまちがう余地がない。なぜなら神のみことばには、生命にいたる道が明白に単純に宣言されているばかりでなく、そこに明らかにされている生命の道を理解するうえに、聖霊が案内者としてあたえられているからである。」（初代文集 365）

「聖霊は、慰め主とも真理の御霊とも呼ばれている。なぜなら、真理には慰めと希望があるからである。偽りは本物の平安を与えることができない。しかし、真理を通して、わたしたちは理解を超えた平安にあずかる者となることができる。」（福音宣伝者 (1892) 310）

個人的な復習問題

1. 聖霊の注ぎは、信徒たちがお互いをどのように考えるかに対して、どのような効果を及ぼしますか。
2. アナニヤとサツピラはどのように聖霊を悲しませましたか。
3. 彼らの貪欲は何に導きましたか。どのようにこれは今日わたしたちにとって警告ですか。
4. どのように批判や疑いは聖霊に対する罪へと導くかもしれませんか。
5. わたしたちはどのようにこの世の生涯において厳密に正直であることができますか。その結果は何ですか。

第一安息日献金 アメリカ合衆国ノースカロライナ州 ミシガンの礼拝堂のために

親愛なる兄弟がた

箴言 3:5, 6 をもってクリスチャンのご挨拶を申し上げます。「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる」。

しばらくの間、ここノースカロライナ州シャーロットの教会の兄弟たちは、神の誉れのためにもう一つの灯台を築こうとしてきました。そして、わたしたちはまごころから、主がわたしたちの道をメイデンの町へと導いて下さったと信じています。この建物を最初に見た時から、主は戸を開いて下さり、心に印象づけて下さり、そして兄弟の側での多くの祈りと自己犠牲をもって、彼らは購入へと踏み切りました。わたしたちは真実、主が売主の心に触れて下さって、わたしたちが最初に思ったよりも安い価格でこの不動産を得ることができるようにして下さいましたと信じています。

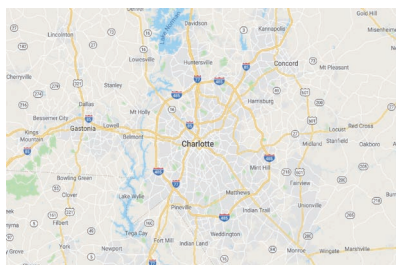
兄弟はちょうどこの購入のために、原稿リソース 4 巻 281 にある次のみ言葉を讀んだのです。「不動産のいくつかが…わたしたちに提示されている。そして、それらのうちのいくつかはわたしたちが必要としているものだということが明らかであり、耐えがたい借金をすることなくそれらを手に入れる備えがある時に、それらを購入すべきである。…事実、多くの場合、これらの不動産の所有者たちは、それらを手放したくて、喜んで安い価格で売ろうとすることは、わたしたちに大いに有利となる」

この建物は構造的に丈夫ですが、今の仕様に祈りの部屋として使うためには改築する必要があります。多くの変更ではありませんが、それらは高い費用がかかります。わたしたちは時間と金銭をもって大いに犠牲を払ってきましたが、なお多くの資金が必要とされています。およそ総額 5 万ドルで、すべての費用がまかなえると見積られています。

この事業を完成するのを助けるため、わたしたちと共にこの地域に真理の灯台を建ててくださるよう、わたしたちの教会家族の惜しみない心に訴えます。メイデンの中や周囲の魂の救いを助けるために、神のみ手の内の器となるよう、みなさんをお招きします。

先だって、お礼申し上げます！皆さんのお祈りと援助を感謝します。

シャーロットの兄弟姉妹より



造りかえられなさい

「あなたがたは、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである。」(ローマ 12:2)

「神のみたまが心を占領されるとき、それは生活を生れ変らせる。罪の思いはしりぞけられ、悪い行為は放棄され、愛と謙遜と平安が怒りとねたみと争いに入れ代る。よろこびが悲しみに入れ代り、顔には天の光が反映する。」(各時代の希望上巻 203)

推奨文献： 上を仰いで 236-241, 248, 345, 346

日曜日

11 月 25 日

1. 御霊によって変えられる

- a. わたしたちをキリストに似たものとするために、聖霊はどの役割を果たして下さいますか (コリント第二 3:18)。

「キリストを眺めるという意味は、このお方の生涯をみ言葉のうちに与えられているとおりに研究するということである。わたしたちは真理を隠された宝のように掘り探らなければならない。わたしたちはキリストに自分の目を固定させなければならない。わたしたちがこのお方を個人的な救い主として受け入れるとき、それがわたしたちを大胆に恵みの御座に近づかせる。眺めることによって、わたしたちは変えられ、品性において完全なお方に道徳的に同化していく。このお方の着せられる義を受けることによって、聖霊の変化させる力を通して、わたしたちはこのお方に似た者になる。」(SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 6 巻 1098)

- b. イエスは聖霊によって、わたしたちのために何をして下さいますか (コリント第一 6:11)。

「外なる人の献身と敬神と聖化の欠如は、イエス・キリスト我らの義を否定することを通してもたらされる。神の愛が絶えず培われる必要がある。」(信仰と行い 15)

2. 魂に罪を自覚させる

a. どのような方法によって、聖霊は魂に罪を自覚させますか (ヨハネ 16:8-10)。

「心は触れられ、悔い改めさせられる。悔い改めの告白が魂の道徳的な大気を晴らし、聖なる諸原則が目覚める。キリストの征服する恵みが心の中に入る。…罪は神がご覧になる光のうちに認められる。それらを告白し、許される。」(ビュー・アンド・ヘルド 1898 年 6 月 28 日)

b. 譴責に対する信心深い応答は何ですか (使徒行伝 2:37; 箴言 9:8)。

「神の御霊によって譴責される人々は、謙遜な器に対して反逆したりしない。彼らを破滅から救うために語っているのは、過ちのある死すべき人間ではなく、神なのである。」(教会への証 3 巻 257)

「人間の性質にとって、譴責は心地よいものではないし、神の御霊によって明るくされていない人の心が、譴責の必要性や譴責がもたらすように意図された祝福を認めることもできない。人が誘惑に屈し、罪にふけると、その人の思いは暗くなる。道徳的な感覚がゆがめられる。良心の警告が無視され、その声はだんだんはつきり聞こえなくなる。彼は次第に正しいことと悪いことを識別する力を失い、ついに自分が神の御前に立っているという真の自覚がなくなる。…神は十分な証拠を与えてこられた。従って、証の書の性質に関して満足したいと願う者は、そうできるはずである。そして、それらが神からのものであることを認めたならば、たとえ自分自身では自分の道の罪深さを認めなくても、譴責を受け入れることが彼らの義務である。もし彼らが自分たちの状態を十分に認めるならば、譴責の必要があるだろうか。それを知らないがゆえに、神は憐れみ深くも彼らの前にそれをおき、彼らが遅すぎる前に悔い改めて改革できるようにしてくださるのである。」(同上 5 巻 682)

c. わたしたちの生活における罪を譴責され、変わることを願うとき、何を思い出すべきですか (イザヤ 55:7; ホセア 6:1; ヨハネ第一 1:9)。

「神の譴責を受けたときに、けんそんに罪を告白して悔い改める者は、だれでもダビデのように希望をもつことができるのである。信仰をもって神の約束を受け入れるものは、だれでも許されるのである。主は、真に悔い改める魂をひとりでもお捨てにならない。」(人類のあけぼの下巻 430)

3. 新しい心を創造する

- a. すべての人のうちに、聖霊はどの創造的な働きをなさいますか (ヨハネ 16:8, 9; 12:32)。

「自然界にも働いているこの同じ神のみ心は、人の心に呼びかけ、人が持ち合わせていない何ものかに対する表現しがたい渴望を起させる。この世のものではどうしてもかれらの渴望を満たすことはできない。神のみたまは心に真の平安を与え、唯一のものであるキリストの恵みと、きよめの喜びを求めるように訴えている。わたしたちの救い主は、絶えず見える見えないにかかわらず、さまざまの力を用いて、満足のない罪の快樂を離れキリストによって与えられる限りない祝福を求めるよう、わたしたちの心に働いておられる。」(キリストへの道 30, 31)

- b. 生来の心の霊的な状態はどのようなものですか (エレミヤ 17:9; ローマ 3:23)。

「人間は、自分で、自分のあやまちをさとすることはできない。……ほんとうに自分を知る方法は、ただ一つしかない。それは、キリストをながめることである。人びとが自分の義を誇るのは、キリストを知らないからである。神がどんなに清く、尊いかたであるかをめい想することによって始めて、わたしたちは、自分がどんなに弱く貧しく、またどんな欠点があるかを、そのまま見るようになる。わたしたちも、他のすべての罪人と同様に、自分の義の衣をまとい、墮落と絶望の中に沈んでいることをさとる。もし、わたしたちが救われたとするならば、わたしたち自身の善行によるのではなく、全く神の無限の恵みによるものであることを知ることであろう。」(キリストの実物教訓 139)

- c. わたしたちが自分の心の真の状態を知ったとき、神はわたしたちのために何をしたいと望まれますか (イザヤ 1:18; エゼキエル 18:31; 36:26)。

「あなたはこのお方があなたと論じることを許すだろうか。このお方に自分の魂の守りを、忠実な創造主としてお委ねするだろうか。そうであれば、来なさい。そしてこのお方の御顔の光のうちに生きよう。そしてダビデのように、『ヒソブをもって、わたしを清めてください、わたしは清くなるでしょう。わたしを洗ってください、わたしは雪よりも白くなるでしょう』と祈ろう (詩篇 51:7)。信仰によってキリストの血をあなたの心に塗りなさい。なぜなら、それだけがあなたを雪よりも白くできるからである。しかし、あなたは『わたしのすべての偶像を明け渡すことはわたしの心を碎いてしまう』と言う。神のためにすべてを放棄することが岩の上に落ちて碎けることとして表されている。そうであれば、このお方のためにすべてを放棄しなさい。あなたは碎かれない限り、あなたは価値がない。」(セクレット・メッセージ 1巻 330)

4. 御霊に従って歩む

- a. どのようにして、勝利に満ちた生涯を送ることができますか（ローマ 8:1-4; ガラテヤ 5:16）。

「わたしたちの将来の永遠の幸福は、わたしたちの人性を、そのあらゆる能力と力と共に、神への従順へ導き入れ、神性の支配下に置くことにかかっている。…

キリストが人にもたらして下さった道徳的な力を通して、わたしたちは光のうちに
ある聖徒たちと共に嗣業を受け継ぐものとして下さった神に感謝を捧げることが
できる。イエス・キリストを通してすべての人は自分自身のために、自分自身の責任で、
自分自身の品性の個性のうちに立って、勝利することができる。」（彼を知るために
291）

- b. 聖霊の導きの下にある間、クリスチャンはどのように生きますか（ガラテヤ 2:20）。

「キリストを最も多く愛する者は最も多くよいことをする。自我を捨てて、聖霊
が心に働かれる余地をつくり、神にまったく献身した生涯を送る者の有用さには限
りがない。もし人々が、不平を言ったり、途中で弱ったりしないで、必要な訓練に
耐えるなら、神は日々に、時々刻々に彼らを教えてくださる。神はご自分の恵みを
あらわそうと熱望しておられる。もし神の民が障害をとり除くなら、神は人間とい
う水路を通して救いの水の豊かな流れをそそがれる」（各時代の希望上巻 311）

- c. わたしたちの生活をきよいものとするために御霊がお用いになる重要なものとは
何ですか（ペテロ第一 1:22, 23）。

「聖書は、品性を改変する大きな能力である。『真理によって彼らを聖別して下さい。
あなたの御言は真理であります』とキリストは祈られた（ヨハネ 17:17）。神の
ことばを学んで従うならば、それは、心の中で活動を始め、すべての清くない性質
を征服する。また、聖霊が降下して、罪を指摘する。すると、心の中に生じた信仰は、
キリストに対する愛によって活動しはじめ、からだも心も魂も、すべてをキリストの
かたちに一致させるのである。こうして神は、み心を行なうためにわたしたちをお用
いになるのである。与えられた力は、内から外へと作用して、わたしたちに伝えられ
た真理を他に伝えさせるのである。」（キリストの実物教訓 74）

5. 変えられた心、変えられた生活

- a. 改心した人の生活において、どの変化が明らかになりますか。聖霊は行動にどのような感化を与えますか（ローマ 8:13, 14; エゼキエル 36:27）。

「私たちは神の霊を見ることは出来ないが、その働きのもとで罪過と罪によって死んでいた者が、罪を認めて回心するのを知るのである。無分別で強情な者は真面目になる。かたくなな者はその罪を悔い改め、信仰のない者は信じるようになる。ばくち打ち、酒飲み、放蕩者たちは、堅実で、慎み深く、純潔になる。反抗的で強情な者は、柔和でキリストのようになる。品性がこのように変わったのを見ると、神の改変力が人格全体を変えたことを確信することができる。私たちは聖霊を見なかったが、罪に沈み、かたくなになった罪人の品性を変化させたその働きの証拠を見たのである。」（伝道 387）

- b. わたしたちが神の提供して下さる新しい心を受け入れたことを示すために、神はわたしたちがどのような段階を踏むよう望んでおられますか（使徒行伝 2:38; 22:16）。

「洗いは、水の中でキリストの死の様にひとしくこのお方と共に葬られることであり、神の律法の違反を悔い改めたすべての人が聖霊の働きを通して精錬と清めを受けることを表している。バプテスマは聖霊の再生による真の改心を表している。」（信仰によってわたしは生きる 143）

個人的な復習問題

1. わたしたちはいつ初めて、他の人々に神を真実に表すことができるようになりますか。
2. なぜわたしたちに譴責が必要なのですか。もしわたしたちの心が聖霊によって啓発されているなら、譴責に対してどのように反応しますか。
3. わたしたちがキリストをその純潔と卓越さのうちに眺めるとき、わたしたちに何が起こりますか。
4. わたしたちの思いが聖霊によって新しくされると、わたしたちに何が起こりますか。
5. 聖霊がだれかの生涯において働いてこられたことは、どのようにわかりますか。

ぶどうの木からの教訓

「あなたがたが実を豊かに結び、そしてわたしの弟子となるならば、それによって、わたしの父は栄光をお受けになるであろう。」(ヨハネ 15:8)

「神は、あなたを通して、ご自身の品性の聖潔、慈愛、あわれみをあらわそうと望まれる。しかし救い主は、弟子たちに、実を結ぶために骨折るようには命じられない。主はわたしにつながっていないさいと彼らに言われる。」(各時代の希望下巻 166)

推奨文献： 各時代の希望下巻 161-166

日曜日

12月2日

1. わたしはまことのぶどうの木

- a. イエスはご自身と御父と弟子たちの間の霊的な関係を描写するのに、どの比喩をお用いになりましたか (ヨハネ 15:1)。

「〔キリストは〕わたしたちがぶどうの木を見るときに、ご自分の尊い教訓を思い出すことができるように、ぶどうの木を比喩としてお用いになった。正しく解釈するならば、自然は神性の鏡である。

キリストはぶどうの木とその枝を指し示された。わたしはあなたがたにこの教訓を与える。それはあなたがたが、わたしのあなた方に対する関係とあなたがたのわたしに対する関係を理解できるためである。」(上を仰いで 182)

- b. ぶどうの木にどのような聖書的な意味が伴っていますか (詩篇 80:8, 9)。

「ユダヤ人はいつもぶどうの木を植物の中で最も高貴なもの、また力があり、すぐれていて、実をむすぶすべてのものの型とみなしていた。イスラエルは神が約束の地に植えられたぶどうの木として象徴されていた。ユダヤ人は、自分たちがイスラエルとつながっていることに救いの望みを置いていた。しかしイエスは、わたしがまことのぶどうの木であると言われる。イスラエルとつながっていることによって神の生命にあずかる者、神の約束を継ぐ者となれると思ってはならない。わたしを通してのみ霊的生命が受けられるのだ。」(各時代の希望下巻 162)

2. わたしの父は農夫である

- a. ぶどうの木は、キリストについて、どの依存の教訓をわたしたちに教えますか（ヨハネ 5:19; 14:10）。

「イエスはご自分を象徴されるのに、優美なしゅろの木や高い杉の木やたくましいかしの木を選ばないで、巻きひげのまつわりついたぶどうの木を例にとられる。しゅろの木も杉の木もかしの木も一本立ちである。それはささえを必要としない。しかしぶどうの木はたなにかみついて、天の方へのぼって行く。そのように、人性をとられたキリストは神の力に頼られた。」（各時代の希望下巻 162）

- b. キリストはご自分の御父がご自分のすべての必要を満たして下さることを、どのよう

に確信しておられましたか（ヨハネ 5:30; ペテロ第一 5:7）。

「キリストは、ご自分をまったくむなしくされたので、ご自分で計画をおたてにならなかった。主はご自分のために神のご計画を受け入れられたので、天父は日ごとにそのご計画をお示しになった。」（各時代の希望上巻 254）

「イエスが目をさまして嵐に応じられたとき、彼は平安そのものであった。そのことばにも顔つきにも恐怖の跡はみられなかった。イエスの心の中には恐怖がなかったのである。しかしイエスは、ご自分が大能の力を持つておられることをあてにされなかった。イエスが静かに落ちついておられたのは、天と地と海の主としてではなかった。イエスはその大能の力をさしおいて、「わたしは、自分からは何事もすることができない」と言われる（ヨハネ 5:30）。彼は天父の力に信頼された。イエスが安心しておられたのは、信仰、すなわち神の愛と守りに対する信仰のゆえであった。嵐を静めたみことばの力は神の力であった。」（各時代の希望中巻 59, 60）

- c. ぶどうの木の教訓は、御父のご品性について、わたしたちに何を教えますか（イザヤ 27:2, 3）。

「パレスチナの丘に、天の父がこのよいぶどうの木を植えられ、父ご自身が農夫であった。多くの人たちがこのぶどうの木の美しさにひきつけられ、それが天から出たものであることを宣言した。しかしイスラエルの指導者たちには、それはかわいた土から出た根のように見えた。彼らはその木を引き抜いてこれを傷つけ、けがれた足の下にふみつけた。彼らはそれを永久に滅ぼそうと考えた。しかし天の農夫はご自分の木を決して見すごしにされなかった。人々がその木を殺してしまったと考えたあとで、天の農夫はそれを取りあげ、壁の向こう側に移植された。ぶどうの木はもう見られなくなった。それは人々の乱暴な攻撃からかくされた。しかしまことのぶどうの木の枝は壁をこえてたれさがった。その枝はまことのぶどうの木を代表するのであった。その枝によって、まだまことのぶどうの木につき木をすることができた。その枝から実が得られた。それは通りかか

3. あなたがたは枝である

a. 枝がそれぞれ成長し、実を結ぶためには、何が必要ですか (ヨハネ 15:5)。

「この霊的な関係はただ個人的な信仰を働かせることによってのみ確立することができる。この信仰はわたしたちの側で、最高の優先、完全な信頼、余すことのない献身を表現しなければならない。わたしたちの意志は、完全に神聖な意志に明け渡されなければならない。わたしたちの感情、願望、関心、そして栄誉はキリストの御国の繁栄とこのお方のみ事業の栄誉と同一視されなければならない。わたしたちは絶えずこのお方から恵みを受け、キリストはわたしたちから感謝をお受けにしなければならない。」(教会への証 5 巻 229)

「生きた信仰によるキリストとの結合は、永続的である。他のすべての結合は消滅しなければならない。キリストがまずわたしたちの贖いのために無限の代価を支払われることによって、わたしたちを選んで下さった。そして真の信徒はキリストを万事における最初、最後、最善として選ぶのである。しかし、この結合はわたしたちに何らかの代価を要求する。それは誇り高い人間が入らなければならない完全な依存という結合である。この結合を形成するすべての人は、キリストの贖罪の血の必要を感じなければならない。彼らに心の変化がなければならない。彼らは自分自身の意志を神の意志に屈服させなければならない。外面と内面の障害に対する苦闘があるであろう。付着という働きと同様に分離という痛みを伴う働きがなくてはならない。キリストとの結合に入りたければ、誇り、利己心、虚無、世俗—あらゆる形態の罪—が克服されなければならない。多くの人がクリスチャン障害を嘆かわしいほど困難だと思う理由は、彼らがあまりに気まぐれで、移ろいやすく、まず大事にしている偶像から自らを分離させることなく、キリストに付着しようとするからである。」(同上 231)

b. キリストは、どのようにわたしたちのうちに宿られますか (ヨハネ 15:7; 14:16-18, 23)。

「キリストがご自分に従う者たちの中に住まれるのはみことばを通してである。これは、キリストの肉を食べ、その血を飲むことによってあらわされているのと同じに生命のつながりである。キリストのみことばは霊であり生命である。みことばを受けることによって、あなたはぶどうの木であられるキリストの生命を受けるのである。あなたは、『神の口から出る一つ一つの言で生きるものである』(マタイ 4:4)」(各時代の希望下巻 166)

「このように結合するとき、キリストのみ言葉がわたしたちのうちに宿る。そして、わたしたちは発作的な気持ちによってではなく、生きた永続的な原則によって動かされるのである。キリストのみ言葉を瞑想し、心の内に抱き、奉じなければならない。」(教会への証 4 巻 355)

4. 神性にあずかる

- a. 日常生活において、神のみ言葉の諸原則に従って、神のみ言葉を食するとき、何が起きますか（ヨハネ 17:17; ペテロ第一 1:22, 23; ペテロ第二 1:4）。

「キリストのみことばを食べるときに、〔神の民〕は、それが霊でありいのちであることを知る。みことばは、生れながらの世俗的な性質を滅ぼし、イエス・キリストのうちにある新しいいのちを与える。聖霊は、助け主として魂にくだる。人を生れ変らせる神の恵みの力によって、神のみかたちが、弟子のうちに再現され、彼は新しい人間となる。愛が憎しみに入れ代り、心は神のみかたちにかたどられる。」（各時代の希望中巻 141）

「聖霊の力強い精力が、その活気づけ、回復し、変化させる力をことごとく伴って、電気的な衝撃のように麻痺に襲われた魂に下り、すべての神経を新しい命に振動させ、全人格をその死んだ地上に属する好色な状態から、霊的な健全さへ回復するように祈りなさい。あなたはこうして世にある欲のために滅びることを免れ、神の性質にあずかる者となるのである。そしてあなたの魂のうちに、その打たれた傷によってあなたが癒やされたお方のみかたちを反映するようになる。」（教会への証 5 巻 267）

- b. ぶどうの木と命のつながりを持っている枝の性質は、どのようになりますか（ローマ 11:16; 6:22）。

「枝とぶどうの木とのつながりは、あなたがたとわたしとの間の関係を表わしていると、キリストは言われた。若枝が生きたぶどうの木につながれて、せんいはせんいと、木目は木目とつながって、木の幹へと生長するのである。ぶどうの木の生命は枝の生命となる。そのように、罪とがのうちに死んだも同様の魂は、キリストにつながることによって生命を受けるのである。キリストを自分自身の救い主として信じる信仰によって、この結合がなされる。罪人は自分の弱さをキリストの強さに、自分のむなしさをキリストの充実に、自分のもろさをキリストの耐久力に結合させる。そのとき彼は、キリストの心を持つのである。キリストの人性はわれわれの人性に触れ、われわれの人性は神性に触れたのである。こうして聖霊の働きを通して、人は神の性質にあずかる者となる。彼は愛するみ子のうちに受け入れられる。」（各時代の希望下巻 163）

「この緊密なつながりと通信が形成されると、わたしたちの罪はキリストの上に置かれ、このお方の義がわたしたちに着せられる。このお方はわたしたちのために罪となられた。それはわたしたちがこのお方のうちにあって神の義とされることができたためであった。」（教会への証 5 巻 229）

5. 多くの実を結ぶ

- a. 聖霊を通してのキリストへのつながりは、どれくらい持続しなければなりませんか（ヘブル 3:14）。

「これは気まぐれな接触でもなければ、ついたり離れたりする関係でもない。枝は生きたぶどうの木の一部となるのである。根から枝への生命と力と実りの伝達はさまたげられることなく、たえまなく行なわれる。ぶどうの木から離れると、枝は生きることができない。あなたがたはわたしを離れては生きることができないと、イエスは言われた。あなたがたがわたしから受けた生命は、たえまないまじわりによってのみ持続されるのだ。わたしなしでは、あなたがたは一つの罪にうち勝つことも、一つの試みに抵抗することもできない。」（各時代の希望下巻 164）

- b. ぶどうの木と命のつながりを持っている枝の生活には、自然に何が現れるようになりますか（ヨハネ 15:8; ガラテヤ 5:22, 23）。

「キリストのうちに宿るとは、愛によって働き、魂を清める生きた真剣な清新な信仰を意味する。それは絶えずキリストの御霊を受けていること、あますことなくこのお方の奉仕へ明け渡す生活を意味する。この結合が存在するとき、良い行いが現れるようになる。ぶどうの木の命は、それ自体が枝のかぐわしい実の中に現れるようになる。キリストの恵みの絶えざる供給があなたを祝福し、またあなたを祝福とし、ついにはパウロと共に次のように言うことができるようになる、『わたしはキリストと共に十字架につけられた。生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである』（ガラテヤ 2:19, 20）。」（彼を知るために 132）

「信仰によって神のみ子を常食とするとき、みたまの実はわれわれの生活の中に見られ、一つとして失われることはない。」（各時代の希望下巻 165）

個人的な復習問題

1. わたしたちの霊的な命は、ただどのように受けますか。
2. ぶどうの木は、わたしたちが神に抱くことのできる信頼について、何を教えますか。
3. わたしたちがクリスチャン生活を非常に難しいと思う一つの理由は何ですか。
4. わたしたちはどのようにしてのみ、ぶどうの木の命にあずかることができますか。
5. 多くの実を結ぶために、クリスチャンにとって何が重要不可欠ですか。

前の雨の経験

「ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。」(使徒行伝 1:8)。

「イスラエルの希望となるべき重要な真理、すなわち、われわれの主の十字架、復活、昇天などの証人である使徒たちの上に、聖霊が特別にくだった。」(初代文集 331)

推奨文献： 患難から栄光へ上巻 29-42

日曜日

12月9日

1. 弟子たちの生涯における新しい段階

- a. イエスの昇天後の信徒たちの態度を描写しなさい (使徒行伝 1:12; ルカ 24:50-53)。

「弟子たちがオリブ山からエルサレムにもどってきたとき、人々は彼らが悲しみ、取り乱し、挫折感に打ちのめされて帰ってくるだろうと思いながら彼らを迎えた。しかし人々はそのよこぎりと勝利を見た。弟子たちは希望が失望に終わったことを歎いてはいなかった。彼らはよみがえられた救い主を見てきたのである。そして別れのとき主が約束されたことばが、彼らの耳の中に絶えず響きわたっていた。」(患難から栄光へ上巻 29)

- b. 彼らは真剣に何を待ち、どれくらいの間エルサレムにとどまっていなければならませんでしたか (使徒行伝 1:4, 5)。

「弟子たちはキリストのご命令に従って、エルサレムで天父のお約束の聖霊の降下を待った。彼らは何もせずぼんやりと待っていたのではない。記録によると、「絶えず宮にいて、神をほめたたえていた」としるされている (ルカ 24:53)。彼らはまた、イエスの名によってみ父に願いを申し出ようと集まっていた。天には彼らの代表者であられるおかた、神のみ座でとりなしをされるおかたがおられるのだということを知っていた。」(同上)

2. 適切な準備の重要性

a. 待っている間、弟子たちは自らどのように準備しましたか（使徒行伝 1:14）。

「自分たちの主人の言葉に従って、弟子たちはエルサレムに集まり、神のみ約束の成就を待っていた。ここで、彼らは10日間、すなわち深く心を探る日々を送った。彼らはすべての相違を捨て去り、クリスチャンの交わりのうちに共に近づいた。」（教会への証 8 巻 15）

「弟子たちは約束が成就されるのを待っていたあいだ、謙遜な心でほんとうに悔い改め、また自分たちの不信心を告白した。彼らは、キリストがなくなれる前にお語りになったことばを思い出しながら、それらの意味を一層深く理解した。」（患難から栄光へ上巻 30）

b. 何がしばしば、わたしたちが教会内における真の一致を持つことを妨げますか（箴言 13:10; ヨハネ第一 2:16）。

「あらゆる自己満足、自己中心、そして意見の誇りを捨て去らなければならない。わたしたちはイエスの足元へ来て、柔和で心のへりくだったお方から学ばなければならない。」（*エレキッド・メッセージ* 1 巻 414）

「もし、誇りと利己心が取り除かれれば、たいていの問題は、五分間で解決する。」（初代文集 223）

c. 弟子たちがイエスの指示に従って行動し、すべての相違を捨て去ったとき、何が起こりましたか（使徒行伝 2:1, 2）。

「み霊は、祈りながら待っていた弟子たちに臨み、ひとりびとりの心を十分に満たされた。無限なる神が、力をもって教会にご自身を現されたのである。この力の現れはもう何年ものあいだ、差しとどめられていたかのものであったが、今こそ、天は、み霊の恵みの富を教会に注ぐことができることをよろこんだ。そして、み霊の感化のもとに、悔い改めや告白のことばが、罪をゆるされたさんびの歌と交替した。感謝の声があがり、預言のことばがきこえた。全天は崇敬の思いでこの比類のない、無限の愛に輝く知恵を見守り、あがめた。使徒たちはわれを忘れて『ここに愛がある』と叫んだ。彼らは与えられた賜物をしっかりと握りしめた。」（患難から栄光へ上巻 32）

3. 神聖な確認

a. どの特別な能力を主は弟子たちに授与されましたか（使徒行伝 2:3, 4）。

「聖霊は炎の舌の形をとって、集まっていた人々の上にくだった。これは、そのとき弟子たちにさづけられた賜物の象徴であった。そして彼らは、それまで知らなかった他国の言葉で流暢に話すことができた。その炎は、使徒たちが働くときの燃えるような熱意と、その働きに伴う力を現した。」（患難から栄光へ上巻 34）

b. どの奇跡が、神が彼らを導いておられることを示していましたか（使徒行伝 2:5-12）。

「そこにはあらゆる国語を話す人々が集まっていた。このように言葉がいろいろ異なっていたことは、福音宣伝のためには非常な妨げとなったはずであった。そこで神は、不思議な方法で弟子たちの不足を補われたのである。聖霊は彼らが一生かかってもなし遂げられないことを彼らのためになさった。弟子たちは今、自分たちの働きかけている人々の言語を正確に話して、福音の真理を広く宣伝することができた。この奇跡的な賜物は、彼らの任務が天の認印を押されたものであることを世に示す確かな証拠であった。この時から弟子たちの言葉は、母国語で語ろうと、外国語で語ろうと、純粹で単純で正確であった。」（患難から栄光へ上巻 34, 35）

c. 神は異言を語ることについては、わたしたちに何とされますか（コリント第一 14:27, 28, 33）。今日、この賜物の偽物がどのように見いだされますか。

「ある…人々は、自分たちが賜物と呼び、主が教会のうちにおいて下さったというものを用いる。彼らは、自分たちが知られない言葉と呼んでいる無意味なわ言を持っているが、それは人に知られていないだけでなく、主や全天によっても知られていないのである。そのような賜物は、大欺瞞者の助けによって、男女が作り出したものである。狂信、偽りの興奮、偽りの異言を語ること、そして騒がしい運動などが、教会の中に神が置かれた賜物だと考えられてきた。ある人々はここで騙される。すべてこれらの実は良いものではなかった。『あなたがたは、その実によって彼らを見わけるであろう。』（教会への証 1 巻 412）

4. 成就した預言

- a. 弟子たち聖霊の力を受ける前に、どの出来事が先にありましたか。これはダビデによってどのように預言されていましたか（使徒行伝 2:32-36; 詩篇 110:1.）。

「キリストの昇天は、主に従う者たちが約束の祝福を受けることのしるしであった。彼らは、仕事にとりかかる前にこれを待たなければならなかった。キリストは天の門の中に入って行かれて、天使たちのさんびのうちに王座につかれた。この儀式が終わるとすぐ、聖霊は豊かな流れとなって弟子たちの上にくだり、キリストは永遠の昔から父と共に持つておられた栄光をお受けになった。ペンテコステの聖霊降下は、あがない主の就任式が完了したことを知らせる天からの通報であった。主は、その約束に従って、ご自分が祭司、また王として、天と地のすべての権威を引き継ぎ、神の民の上に立つ油そそがれた者となられたしるしとして、弟子たちに天から聖霊を送られたのであった。」（患難から栄光へ上巻 32-34）

- b. ペンテコステのときのペテロの大胆な説教の効果はどのようなものでしたか（使徒行伝 2:37）。

「使徒たちに耳を傾けていた人々の中には、キリストを罪と死に陥れることに一役買った者もいた。彼らの声は、主を十字架につけよと叫ぶ群衆の声に混じっていた。イエスとバラバが法廷で彼らの前に立ち、ピラトが「おまえたちは、だれをゆるしてほしいのか」とたずねたとき、『その人ではなく、バラバを』と彼らは叫んでいた（マタイ 27:17、ヨハネ 18:40）。ピラトがキリストを彼らの前に連れてきて、『あなたがたが、この人を引き取って十字架につけるがよい。わたしは、彼にはなんの罪も見いだせない。』『この人の血について、わたしには責任がない』と言うと、『その血の責任は、われわれとわれわれの子孫の上にかかってもよい』と彼らは叫んだのであった（ヨハネ 19:6、マタイ 27:24, 25）。

いま、彼らは、十字架につけられたのは神のみ子であったという弟子たちの言葉を聞いている。祭司や役人たちは震えおののいた。人々は罪の自覚と苦悩におそわれた。『人々はこれを聞いて、強く心を刺され、ペテロやほかの使徒たちに、『兄弟たちよ、わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか』と言った。』弟子たちの言葉を聞いていた人々の中に信心深いユダヤ人もいた。彼らは真心から信じていた。語る者の言葉に力が伴い、イエスこそ本当にメシヤであるということを彼らは得心した。」（同上 38）

5. 驚くべき結果

a. 人々の真摯な問いに、ペテロはどのように答えましたか（使徒行伝 2:38, 40）。

「悔い改めよ、悔改めよというのが、荒野で叫んだバプテスマのヨハネのメッセージであった。キリストの人々に対するメッセージは『あなたがたに言うが、そうではない。あなたがたも悔い改めなければ、みな同じように滅びるであろう』（ルカ 13:5）。そして使徒たちは至るところで人々に悔い改めるべきことを説教するようにと命じられた。」（伝道 244）

b. 弟子たちはどのような圧倒される出来事を経験しましたか（使徒行伝 2:41）。

「イエスが神のみ子であるなどとはおよそ考えられもしないことだと嘲笑していた多くの人々が、この記念すべき機会に、真理をその通りに信じて、イエスを救い主としてみとめた。こうして三千人が教会に加えられた。使徒たちは聖霊の能力（ちから）によって語った。神の霊の降下を通してなされた偉大な奇跡によって、確固たる信念をもつようになった彼らのことばには、反論することができなかった。」（生き残る人々 282）

「しかし聖霊が天来の能力をもって彼らの議論を人々の心に強い感銘を与えた。彼らの議論は、大能の神から放たれた矢のように人々の心にささり、栄光の主を捨てて、これを十字架につけた恐るべき罪を悟らせた。」（同上 282, 283）

個人的な復習問題

1. 弟子たちは、御霊の注ぎを待って、どれくらいの時間を宮で過ごしましたか。彼らの態度はどのようなものでしたか。
2. 10 日間、彼らは神がご自分の約束を果たされるのを待っている間、何をしましたか。なぜそれが必要だったのですか。わたしたちはここから、何を学ぶことができますか。
3. 異言を語ることは、弟子たちにどのように益となりましたか。
4. どのグループの人々が特に、イエスが神の御子であられるということを得心しましたか。彼らは何を尋ねましたか。
5. 弟子たちが群衆に語っているとき、聖霊が彼らの心をどのように説得なさいましたか。

約束された後の雨

「あなたがたは春の雨の時に、雨を主に請い求めよ。主はいなずまを造り、大雨を人々に賜い、野の青草をおのおのに賜わる。」(ゼカリヤ 10:1)

「神の活気づけ、すなわち力は、神がなすようにお命じになった働きをすることによって、そのための準備している人々にのみ臨んだ。その働きとは、自らを霊肉のすべての汚れからきよめ、神の畏れのうちに聖潔を完全にすることであった。」(教会への証 1 巻 619)

推奨文献： 牧師への証 506-512

日曜日

12月16日

1. 見張るようにと絶えず思い起こさせるもの

- a. わたしたちは世界歴史のどの時代に生存していますか (ヨハネ第一 2:18; マタイ 24:4-14, 33)。

「テストと清めの日がわたしたちに迫っている。もっとも驚愕するような性質のしるしが、洪水、ハリケーン、竜巻、土砂降り、海陸の災難のうちに現れる。それらは万物の終わりが近づいていることを宣布している。神の裁きが世界に下りつつある。それは人が、キリストが速やかに来られるという事実に目覚めるためである。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1892 年 11 月 8 日)

- b. 使徒パウロは、どのしるしを指し示していますか (テモテ第二 3:1-5)。

「あらゆる種類の暴力と犯罪がわたしたちの世に満ちている。そしてサタンは犯罪と低俗な悪徳を一般的にするためにあらゆる手段を用いている。…思いは罪に親しむよう教育されている。低俗で悪徳な人々の取る行動が、日刊紙の中で絶えず彼ら〔青年たち〕の前に置かれている。また好奇心や動物的な情欲を引き起こすようなすべての物が、スリルにあふれた興奮させる物語の中で絶えず彼らの前に持ち出されている。」(教会への証 3 巻 471, 472)

2. 後の雨を受けるための条件

a. 終わりの時代に神はどの特別な祝福を約束して下さいましたか (ヨエル 2:28, 29)。

「地上に神の最後のさばきが下るに先だって、主の民の間に、使徒時代以来かつて見られなかったような初代の敬虔のリバイバルが起きる。神の霊と力が神の子供たちの上に注がれる。」(各時代の斗争闘下巻 190)

「主がわたしたちのために大いなることをしてくださるのを期待すべき時が来た。わたしたちの働きは、揺らいだり、弱くなったりすべきではない。わたしたちは、恵みと主を知る知識に成長すべきである。働きが終わり、神の民の封印が終わる前に、聖霊の降下が与えられる。天よりのみ使いは、私たちの真ただ中になつ。(セクレット・メッセージ 1 巻 144)

「もしヨエルの預言が、使徒たちの時代に部分的に成就を見たとしたら、わたしたちはそれらがさらにはっきりと神の民に表されるべき時代に生きている。このお方はご自分の御霊をご自分の民に注がれ、彼らが道徳的闇の中で光となることができるようになる。そして偉大な光が世界中の至る所で反射されるのである。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 4 巻 1175)

b. 後の雨を受けるために、何が要求されていますか (ペテロ第一 1:13-17; ペテロ第二 1:2-8)。

「地の収穫を实らせる後の雨は人の子の来臨のために教会を準備させる霊的な恵みを象徴している。しかし、前の雨が降らない限り、命はない。緑の芽が出ないのである。前の雨がその働きをしたように、後の雨がなければどの種も完全に至ることができない。

『初めに芽、つぎに穂、つぎに穂の中に豊かな実ができる』のである。クリスチャンの徳の継続的な成長、クリスチャン経験における継続的な前進がなければならぬ。これをわたしたちは激しい願望を持って求めるべきである。こうしてわたしたちがわたしたちの救い主キリストの教理に光彩を添えることができるためである。」(牧師への証 506)

「神はご自分に仕えることをまごころから願うすべての魂に新しい命を吹き込むことがおできになる。…主がご自分の民を助けて下さって、魂の宮をすべての汚れからきよめることができるように。また後の雨が注がれるときに、それにあずかることができるほどこのお方との緊密なつながりを維持することができるように。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 6 巻 1055)

3. 前の雨の下での準備

a. すべての信徒のうちで前の雨は何をなすべきですか（使徒行伝 3:19, 20）。

「多くの人々は、前の雨を受けることに大いに失敗している。彼らは神がこのように自分たちのために備えてこられたすべての益を自分のものとしてこなかった。彼らはこの欠乏が後の雨によって埋められるものと期待している。恵みがこの上なく豊かに授けられるときに、彼らはそれを受けるために心を開こうとしている。彼らは恐ろしい間違いを犯している。神が光と知識を与えることによって人の心の中で始められた働きは、絶えず前進しなければならない。すべての個々人が自分自身の必要を自覚しなければならない。心はすべての汚れが空にされ、御霊の内住のために清められなければならない。初期の弟子たちがペンテコステの日に聖霊の注ぎのために準備したのは、罪を告白し、捨てることによって、熱心な祈りと神への献身によってであった。同じ働きが、ただより大きい規模で、今なされなければならない。」（牧師への証 507）

「自分たちの無力を感じつつも、豊かな経験を得るために、与えられたすべての機会を活用しなければならない。苗木が地の中に根をおろすように、わたしたちは、キリストの中に深く根をおろさなければならない。また、苗木が太陽の光や露や雨を受けるように、わたしたちも、心を開いて、聖霊を受けなければならない。」（キリストの実物教訓 45, 46）

b. イエスはわたしたちに、どの真剣な招きをしておられますか（マルコ 13:33）。

「聖霊の降下する特別な時について、すなわち大いなるみ使いが天より下り、第三天使と協力してこの世に対する働きを終結させる時については、特別に示されてはいない。わたしのメッセージは、あかりを整え、燃やして、天からの慰めの時の準備をしておくことが唯一の安全な道だということである。」（*セレクトド・メッセージ* 1 巻 258）

「第三天使のメッセージは大いなる叫びへと盛り上がっているが、あなたは現在の義務を勝手になおざりにできると感じながら、なおいつか将来自分が大いなる祝福を受ける者となり、自分の側では何の努力もしないで、すばらしいリバイバルが起こる時が来るという考えを抱いてはならない。…今日、あなたの器は清められていなければならない。それは天のしずくのために準備し、後の雨の注ぎに向けて準備できるためである。なぜなら、後の雨が降り、神の祝福はすべての汚れから清められている一人びとりの魂を満たすからである。今日、キリストに自分たちの魂を明け渡すのがわたしたちの働きである。それは主の御前からの活気づけの時にふさわしい者と、すなわち聖霊のバプテスマにふさわしいものとされるためである。」（伝道 701, 702）

4. 今こそ、その時！

- a. どの訴えが、今日わたしたちになされていますか（ホセア 10:12; マタイ 24:44; ヨハネ第一 3:3）。

「主はまもなく来られる。そしてわたしたちはこのお方に平安のうちにお会いする準備をしなければならない。わたしたちは周囲にいる人々に光を分け与えるために自分たちのなし得ることはすべてすることを決心しよう。わたしたちは悲しむのではなく、快活であるべきであり、いつも主イエスを自分たちの目の前に保っているべきである。このお方はまもなく来られる。そしてわたしたちはこのお方の出現のために用意して、待っていなければならない。ああ、このお方にお会いし、このお方に贖われた者として迎えられるとは、なんと栄光に満ちたことか！」（教会への証 8 巻 253）

「主は来られる、そしてわたしたちは準備していなければならない！毎瞬間、わたしはこのお方の恵みを欲する。わたしはキリストの義の衣を望む。わたしたちはかつてなかったほど神の御前に自分の魂をへりくだらせ、心低く十字架の足下へ来なければならない。そうすれば、このお方はご自分に語るべき言葉をわたしたちの口に入れ、自分たちの神を讃美させて下さる。…わたしたちは信仰によってこのお方を自分の心の中にお入れしないでであろうか。差し控えることなく、神に献身しないでであろうか。」（ビュー・アンド・ワールド 1890 年 3 月 4 日）

「魂と品性に対する定められた働きができるように毎日毎日聖霊の啓発を求めなさい。つまらないことに、いかに多くの時が浪費されていることであろう。」（セレクトド・メッセージ 1 巻 258）

- b. 初期のクリスチャン教会から、わたしたちは何を学ぶことができますか（使徒行伝 1:14; 4:32）。

「聖霊が注がれたのは、弟子たちが完全な一致に至った後、彼らはもはや最も高い地位のために争わなくなった時であったことに注目しなさい。彼らは一致していた。あらゆる相違は捨て去られていた。そして御霊が彼らに与えられた後に担われた証は、同じであった。…」

今も同じになれる。クリスチャンはあらゆる不和を取り除き、失われた者を救うために神に献身しよう。彼らに信仰のうちに約束された祝福を求めさせなさい。そうすればそれは来る。使徒の時代の御霊の注ぎは『前の雨』であった。そしてその結果は栄光に満ちていた。しかし、後の雨はさらに豊かなのである。この終わりの時代に生きている人々への約束は何であろうか。『望みをいさぐ捕われ人よ、あなたの城に帰れ。わたしはきょうもなお告げて言う、必ず倍して、あなたをもとに返すことを』、『あなたがたは春の雨の時に、雨を主に請い求めよ。主はいなずまを造り、大雨を人々に賜い、野の青草をおのおのに賜わる』（ゼカリヤ 9:12; 10:1）。」（教会への証 8 巻 20, 21）

5. 準備のできている神の民

a. パウロはどの緊急な課題をわたしたちに与えていますか (ローマ 13:11, 12)。

「わたしたちが目覚めて、均整の取れた品性のために断固とした努力をなさなければならないのは、今である。…わたしたちは最も厳しい立場にあつて、わたしたちの主の来臨を待ち、見張っている。世界は闇の中にいる。しかし、『あなたがたは暗やみの中にいないのだから、その日が、盗人のようにあなたがたを不意に襲うことはないであろう』とパウロは言う。待ち、切望している魂のために、闇から光を、悲しみから喜びを、疲れから休息を引き出すのがいつも神のご目的である。」(教会への証 5 巻 215, 216)

b. 終わりの時代に、何が神の民を区別しますか (ヨハネ 13:34, 35; ヨハネ第一 3:14)。

「もしキリストがわたしたちの中に住んでおられるならば、日常接するすべての人にその無私の愛をあらわすはずである。同情や助けを要する男女を見ると、『あの人は価値があるだろうか』と問わず、『どうしたらあの人を助けることができるだろうか』と尋ねるだろう。…

人を救うために自分の生命をお与えになったキリストは人間のひとりびとりに測り知れぬ価値を認めておられる。十字架の奥義と栄光から人間の魂の価値に対するキリストの評価を認識しなければならない。」(ニストリー・オブ・ヒーリング 136)

「キリストの愛、わたしたちの兄弟の愛は、わたしたちがキリストと共にいて、このお方から学んだものであることを世に対して証する。そのとき、第三天使のメッセージは大いなる叫びへと盛り上がり、全地は主の栄光で明るくされるのである。」(教会への証 6 巻 401)

個人的な復習問題

1. 神はなぜこれほど多くの自然災害が起こることを許しておられるのですか。
2. ご自分の御霊をご自分の民に注がれる神のご目的は何ですか。
3. 前の雨を受けることは何を意味していますか。またこのことは、わたしたちが後の雨を受けるためにどのように準備させますか。
4. わたしたちはどのように平安のうちにイエスにお会いする準備ができますか。
5. どのような霊的な状態が、わたしたちが後の雨のために準備ができていることを明らかにしますか。

神の国をつぐことの保証

この聖霊は、わたしたちが神の国をつぐことの保証であって、やがて神につける者が全くあがなわれ、神の栄光をほめたたえるに至るためである。」(エペソ 1:13, 14)

「聖霊という代理人を通して、神はご自分の民の生活において、道徳的な変化をもたらし、彼らをキリストに似たものと変えておられるのである。そうであれば、最後のラッパがキリストのうちに眠っている死者の耳に届くとき、彼らは救いの衣をまとい、新しい命へと出てくる。」(上を仰いで 78)

推奨文献： ビュー・アンド・ヘラルド 1908 年 9 月 22 日

日曜日

12 月 23 日

1. 最初の嗣業

a. 創造の時、わたしたちの神聖な嗣業は何でしたか (創世記 1:26, 27; イザヤ 43:7)。

「アダムが創造主のみ手によってつくられたとき、彼の肉体と知能と霊性は、神のみかたちをそなえていた。『神は自分のかたちに人を創造された』とされる。神の御目的は、人が長く生きれば生きるほど、ますます、はっきりと神のみかたちをあらわすこと、すなわちなおいつそう明らかに創造主の栄光を反映することであった。」(教育 4)

b. わたしたちの最初の嗣業にはまた何が含まれていましたか (創世記 2:8)。

「創造主は、特に〔聖なる夫婦〕の家庭のために、一つの園をそなえて、その愛のもう一つのしるしをお与えになった。……園の中央には、いのちの木があつて、その美観は、他のすべての木にまさっていた。木の実ば、金や銀のりんごのように見え、生命を永続させる能力があつた。……アダムとエバは自由にいのちの木のところに行くことができた。この美しい世界のどこを見ても、罪の汚れや死の陰はなかつた。」(人類のあけぼの上巻 22)

2. 約束された子孫

- a. 罪の結果は何でしたか。そして神はわたしたちを贖うためにどの恵みの約束をして下さいましたか（ローマ 3:23; 8:7, 22; 創世記 3:15）。

「人間よりも下級な被造物の中であって、アダムは王としての立場にあった。彼が神に忠誠心を保っていた間は、自然界の万物は、彼の統治に従っていた。しかし彼が神の戒めにそむいたときに、この統治権は失われた。アダム自身によってこの世界にもたらされた反抗心は、動物界にまでひろがった。このようにして、人の生命だけでなく、獣の性質、森の木々、野の草、人の呼吸する空気までも、悪の知識について、悲しい教訓を告げるようになった。」（教育 18）

「罪のために、神のみかたちは傷つけられ、ほとんど消えてなくなるばかりとなった。人の体力は弱くなり、知的な能力は低下し、霊的な眼はくもった。人間は死ななければならない身となった。」（同上 4, 5）

「人間は、神の律法を犯したときに、その性質は邪惡となり、サタンに敵対するのでなく、協調するようになった。……もしも神が特別に介入されなかったならば、サタンと人間は、天に対抗して同盟を結んだことであろう。そして、人類家族全体は、サタンに恨みをいだくのではなくて、彼と結束して神に反抗したことであろう」（各時代の大争闘下巻 243, 244）

- b. 人類を贖い、わたしたちの失われた支配権を回復してくださる約束されたすえ（子孫）は、だれでしたか（ガラテヤ 3:16; ローマ 6:23）。

「キリストはご自分の犠牲によって、罪の罰を払い、人間を贖うばかりでなく、人間が失った統治権をも回復してくださるのであった。第一のアダムによって失われたものはぜんぶ、第二のアダムによって回復されるのである。」（人類のあけぼの上巻 59）

- c. 約束されたすえは、どのように人類を贖われましたか（ガラテヤ 4:4-6; ヘブル 2:14）。

「キリストは人性を取るように信じさせたのではなかった。このお方はまさにそれを取られたのである。このお方は現実的に人性を所有しておられた。『子たちは血と肉と共にあずかっているので、イエスもまた同様に、それらをそなえておられる』。このお方はマリヤの息子であられた。このお方は人間の血統によれば、ダビデの子孫であられた。」（ビュー・アンド・ヘアルド 1906 年 4 月 5 日）

3. 約束された嗣業

- a. アブラハムとその子孫に約束された嗣業は、永遠のものであることを、何が示していますか（創世記 17:8; ヘブル 11:9, 10; ペテロ第二 3:13）。

「言葉は不死の嗣業の価値を表現することができない。」（教会への証 2 巻 40）

- b. 嗣業には、新しくされた地全体が含まれていることを、何が示していますか（ローマ 4:13（上句）；詩篇 37:29）。

「栄光に輝く美しい新しい地球は、聖徒たちの永遠の嗣業であった。国と主権と全天下の国々の権威とは、いと高き者の聖徒たちに与えられた。そして、彼らは、それをいつまでも、永遠に所有するのであった。」（初代文集 474）

- c. だれを通してのみ、この嗣業をわがものと主張することができますか。またどのようにですか（ガラテヤ 3:29; ローマ 4:13（後句）；ペテロ第一 1:3-5）。

「キリストがわたしたちの望みの基盤でなければならない。なぜなら、このお方を通してのみ、わたしたちは永遠の命を継ぐ者となることができるからである。不死の嗣業はある条件に基づいてわたしたちに提供されている。わたしたちは傷のない肩書きを持っているのでなければ、この世で財産を継ぐことはできない。そうであれば、来たるべき世における嗣業に対する権利もまた傷のない肩書きを通してはつきり証明されなければならない。天の嗣業がどの系図を通してもたらされるかは、神のみ言葉の中にはつきりと明らかにされている。わたしたちはアブラハムの契約の条件の下に来なければならない。そして要求されているのは、『もしキリストのものであるなら、あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束による相続人なのである』。もしわたしたちがキリストのものであるなら、天の嗣業に対するわたしたちの肩書きは傷のないものであり、恵みの契約の条件と調和している。恵みを通して、わたしたちは自分たちの召しと選びを確かにし、霊と品性においてキリストの卓越さを着ることができる。だれも、清められておらず、精錬されておらず、高尚にされておらず、聖化されていない者は、天の嗣業を得る資格がない。そうであれば、わたしたちは自分たちの召しと選びを確実にするために勤勉になり、わたしたちの主なる救い主イエス・キリストの永遠の御国へ入る資格を豊かに与えられるようにしよう。」（使命者 1893 年 5 月 10 日）

4. 永遠の嗣業の担保

- a. どのように、聖霊はわたしたちの永遠の嗣業の担保なのですか（エペソ 1:13（後句）、14；コリント第二 1:22）。

「〔エペソ 1:13 引用〕。神の民の額に押される生ける神の印とは、何であろうか。それは人の目には見えないが、御使たちの読めるしるしである。なぜなら、滅びの天使がこの贖いのしるしを見なければならぬからである。知的存在者の知性が、主に養子縁組された息子むすめたちのうちに、カルバリーの十字架の印を認めてきた。神の律法の違反の罪は取り除かれた。彼らは礼服を着ており、神のすべての戒めに従順で忠実なのである。」（原稿リス 21 巻 52）

「使徒パウロも、『やがて神につける者が全くあがなわれ』る時を示している（エペソ 1:14）。神は、きよい幸福な人々の住居として、地を創造された。……地が神の力によって新しくされ、罪と悲しみから解放されて、贖われた者の永遠の住居となるときに、この目的は達成されるのである。」（人類のあけぼの上巻 60）

- b. 今日、永遠の嗣業のための準備において、何が回復されなければなりません（ローマ 8:29）。

「ご自分が人類の苦悩と悲慘さのどん底まで下り、人を引き上げることができるために人性を取られたことによって、キリストはご自分が人類にどのような価値を認めておられるかを示された。…キリストが、人のうちにほとんど消えかかっていた神のみかたちを回復し、その額にご自身の印を押すというご自分の目的を成し遂げることができたのは、サタンの勢力との最も激しい死闘によってのみであった。」（ポールソン・コレクション 164）

「蠟が印のかたちを残すように、魂も神の御霊の印を残し、キリストのみかたちを維持しなければならない。」（主よ、きたりませ 227）

「墮落し、サタンによって奴隷にされていた魂は、福音を通して、神の御子の栄光に満ちた自由にあずかるために贖われなければならない。神のご目的は、避けられない罪の結果である苦しみから救出するだけでなく、罪そのものから救うことである。魂は、墮落し、かたちが損なわれているが、清められ、変えられなければならない。それは魂が『主なるわが神のうるわしさ』をまとって、その『御子のかたちに似たものと』することができるためである（詩篇 90:17 英語訳；ローマ 8:29）。」（キリストを映して 377）

5. 受けた嗣業

- a. 自分たちのうちに御霊に宿っていただくならば、神とキリストは何をして下さいますか (ローマ 8:11; ヨハネ 6:40)。

「キリストは、われわれがキリストと一つ精神になるために、われわれと一つ肉体になられた。われわれが墓から出てくるのは、この結合によるのである。すなわちキリストの力のあらわれとしてだけでなく、信仰によってキリストのいのちがわれわれのものとなったからである。キリストの真の品性を見、キリストを心に受け入れる者は、永遠のいのちを持つ。キリストがわれわれのうちに住まれるのは、みたまを通してであり、神のみたまが信仰によって心に受け入れられるときに、それは永遠のいのちの始まりである。」(各時代の希望中巻 135, 136)

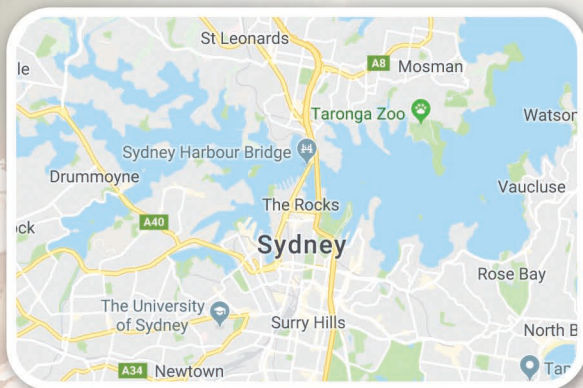
- b. わたしたちの体が死から不死へと贖われるのはいつですか (ローマ 8:23; ルカ 21:28)。

「キリストは、わたしたちの卑しい体を造り変えて、ご自身の栄光の体に似たものとしてくださる。一度罪に汚されてしまつて美を失い、死ぬべき、朽ち果てるべきものとなった体が、完全な、美しい、不死のものとなる。すべての傷や醜さは、墓の中に残される。贖われた者は、長い間失われていたエデンのいのちの木に再び近づくことを許され、最初の栄光に輝く人類の完全な背丈に『成長する』のである (マラキ 4:2 英語訳)。罪ののろいの最後の痕跡が取り除かれ、キリストに忠実に仕える者たちは、知的にも、霊的にも、身体的にも、主の完全な姿を反映して、『われらの神、主のうるわしき』を着て現われる。ああ、なんというすばらしい贖いであろう。これこそ長い間、語り、熱望し、熱心な期待をもって瞑想してきたが、しかし決して十分には理解できなかったことであつた。」(各時代の争闘下巻 424)

個人的な復習問題

1. わたしたちははじめ、だれのかたちに創造されましたか。わたしたちの嗣業は何でしたか。
2. 人類を贖われる神のご計画を述べなさい。
3. だれを通してのみ、わたしたちは不死の嗣業を受けることができますか。どのようにですか。
4. どのように聖霊はわたしたちの永遠の嗣業の担保なのですか。
5. わたしたちの嗣業の回復には何が含まれていますか。

第一安息日献金

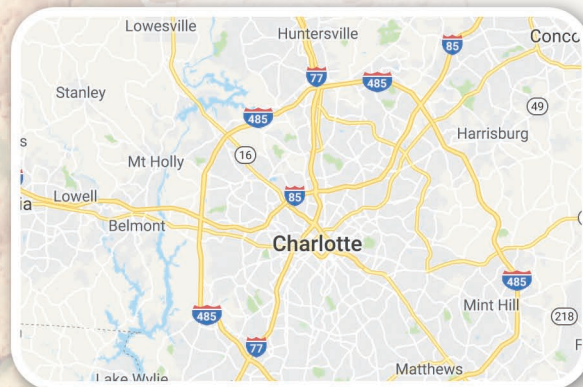


10月6日

オーストラリア
ニューサウスウェールズ州
スコッフィールド教会プロジェクトのために
(4 ページ参照)

11月3日

伝道地の文書のために
(25 ページ参照)



12月1日

アメリカ合衆国ノースカロライナ
州ミシガンの礼拝堂のために
(46 ページ参照)